



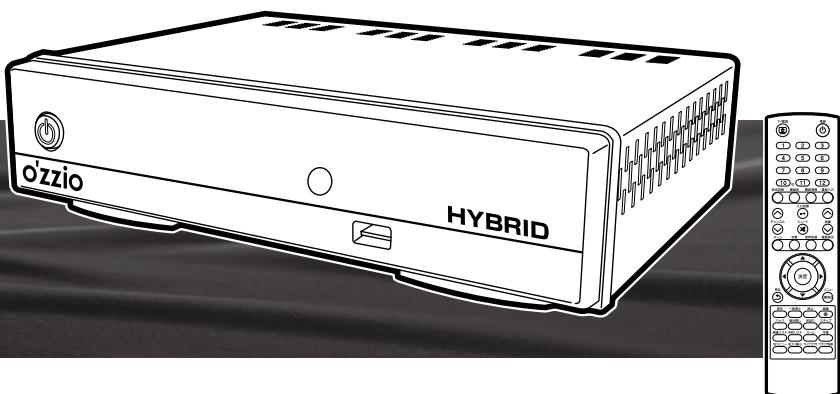
O'zzio *TV Internet Hybrid*

地上・BS・110度CS デジタル ハイブリッドチューナー

HB-D2R1A

OZHB-D2R1A

ユーザーマニュアル



はじめに

機器の準備・接続

デジタル放送の視聴・録画

インターネットを楽しむ

付録

セットアップの流れ

- 1** → ■ 内容物の確認
P.8 参照
- ▼
- 2** → ■ ピーキャス B-CAS カードをセットする
P.18 参照
- ▼
- 3** → ■ 本製品をアンテナに接続する
P.19 参照
- ▼
- 4** → ■ 本製品をテレビに接続する
P.20 参照
- ▼
- 5** → ■ 本製品の初期設定をする
P.24 参照

本書の使い方

本書をご活用していただく上での表記事項の説明をします。

表記上の約束

- 注意マーク ····· **△注意** に続く説明文は、製品の取り扱い時に注意すべき事項です。
- 次へマーク ····· **→次へ** に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。
- 参考マーク ····· **→参考** に続くページは、関連する情報の記載があるページを示しています。

文中の用語表記

文中 [] や () で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタンなどの名称を表しています。

使用上のお願いとご注意

～ 最初に必ずお読みください～

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行なうことは禁じられています。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。
- お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破損に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい重要な内容を記載しています。

本文を必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。

いかなるデータの消失・破損または、本書に記載した注意事項を守らずに生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

表示と絵記号の説明

●警告表示の意味

	「取扱を誤った場合、人が死亡、または重傷 ^{*1} を負うことが想定されること」を示します。
	「取扱を誤った場合、人が軽傷 ^{*2} を負うことが想定されたり、物的損害 ^{*3} の発生が想定されること」を示します。

* 1. 重 傷：失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

* 2. 軽 傷：治療に入院や長期の通院を必要としない、けが、やけど、感電などをさします。

* 3. 物的損害：家屋・家財およびペットなどにかかる拡大損害をさします。

●絵記号の意味 の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

	注意を示します。(例： 感電注意)
	禁止（してはいけないこと）を示します。(例： 分解禁止)
	しなければならない行為を示します。 (例： プラグをコンセントから抜く)

警告	
	電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。 指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。
	本製品の取り付け、使用する際は、必ず周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。
	本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
	AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。 海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。
	電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。 差し込みが不完全だと、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。
	電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。 火災や感電の恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。 <ul style="list-style-type: none"> 設置時に、電源ケーブルを壁やラック(棚)などの間にはさみ込んだりしないでください。 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。 温度の高い場所に置かないでください。熱器具を近付けたり、加熱しないでください。 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 極端に折り曲げないでください。 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。 万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	電気製品の内部やケーブル、コネクター類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。 さわってけがをする危険があります。
	濡れた手で本製品に触れないでください。 感電や本製品の故障の原因となります。
	煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。

! 警告

 水場での使 用禁止	風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
 電源プラグを 抜く	本製品を落としたり、強い衝撃を与えるしないでください。 与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
 電源プラグを 抜く	本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。 液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。
 強制	電源ケーブル（または AC アダプター）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。 本製品付属以外のものをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

! 注意

 強制	旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。 万が一故障したとき、火災の原因となることがあります。
 強制	ハードディスクなどの周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。
 禁止	次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 強い磁界、静電気が発生するところ。 ・ 温度、湿度が高い、または結露するところ。 ・ ほこりの多いところ ➔ 故障の原因となります。 ・ 振動のある場所 ➔ けが、故障、破損の原因となります。 ・ ぐらつく台の上や傾いたところなど不安定な場所 ➔ 転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。 ・ 直射日光や光などの過激な熱の発生する場所 ➔ 故障や変形の原因となります。 ・ 火気の周辺、または熱気のこもる場所 ➔ 故障や変形の原因となります。
 禁止	本製品の上に物を置かないでください。 傷がついたり、故障の原因となります。
 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。 本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、しぼってから拭き取ってください。
 強制	本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。 条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

INDEX

目次

はじめに

パッケージの内容	8
各部の名前と機能	10
本体前面	10
本体背面	11
リモコン	12
リモコンに電池を入れる	15
リモコンの使いかた	15
リモコンでテレビを操作できるように設定する	16

機器の準備・接続

B-CAS カードをセットする	18
本製品をアンテナに接続する	19
本製品をテレビに接続する	20
HDMI コネクターに接続する	20
D 端子に接続する	20
本製品に音響機器を接続する場合	21
本製品をネットワーク機器に接続する	21
本製品に録画用ハードディスクを接続する	22
本製品にキーボードを接続する	23
本製品に電源ケーブルを接続する	23
本製品の初期設定をする	24
その他の設定をする	26
リモコンのチャンネルボタン設定をする	26
受信チャンネルを再設定する	28
お使いのテレビの画面に合わせた表示にする	30
字幕・文字スーパーの表示	32
暗証番号を設定して視聴を制限する	34
BS/110 度 CS アンテナの電源を管理する	36
システム情報を表示する	37
省エネモードを使用する	37
インターネットへの接続設定をする	38
インターネット機能設定	41
本製品を初期化する	45

デジタル放送の視聴・録画

デジタル放送を視聴する	46
地デジ、BS、CS を切り替える	46
視聴中に様々な情報を表示する	47
視聴中に字幕を表示する	47
音声を切り換える	47
チャンネル番号を入力してチャンネルを切り替える	47

電子番組表 (EPG) を使用する	48
マルチ編成の番組を視聴する	48
デジタル放送を録画予約する	49
新しいハードディスクを登録する	49
ハードディスク録画の設定をする	51
電子番組表 (EPG) から番組を予約する	52
予約した番組を確認する	54
録画予約の優先度を設定する	56
予約した番組を取り消す	58
現在視聴している番組を録画する (ダイレクト録画)	59
予約録画、ダイレクト録画を停止する	59
録画した番組を再生する	60
お知らせを表示する	61
録画した番組・ハードディスクを管理する	62
複数のハードディスクを使用する	62
ハードディスクの登録を解除する	63
ハードディスクの容量と録画可能時間	63
ハードディスク録画の制限事項	63

インターネットを楽しむ

本製品のインターネットご利用についての注意点	64
ブラウザの使い方	65
テレビとブラウザを切り替える	65
ブラウザ画面の選択	65
ページのスクロール	67
サブスクリーンでのブラウザ画面のアクセス	67
メニューバーの使い方	68
URL 入力ボタン	68
ホームボタン	69
ホームページ登録ボタン	70
縮小ボタン	72
閉じるボタン	73
その他ボタン	73
ソフトウェアキーの使い方	75
ソフトウェアキーを表示する	75
ソフトウェアキーの説明	75
ソフトウェアキーの入力	77

付録

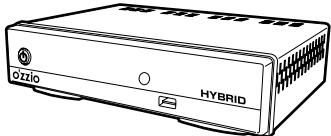
エラーコード一覧	78
困ったときは	81
本製品のファームウェアをアップデートする	82
地上デジタル放送チャンネル一覧	84
製品仕様	86
アフターサービスについて	87

はじめに

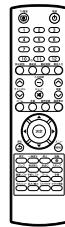
本製品を使用する前にご確認ください。

パッケージの内容

パッケージには以下のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。



**HB-D2R1A/OZHB-D2R1A
本体×1**



リモコン×1



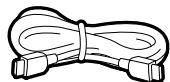
B-CAS カード（赤）×1



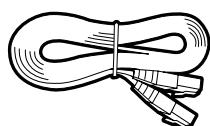
単4乾電池×2



AC ケーブル 1.5m × 1



HDMI ケーブル 1.5m × 1



LAN ケーブル 1.8m × 1



ユーザーマニュアル（本書）

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。

また、本製品の修理をご依頼いただく際は、製品と一緒に付属の B-CAS カードもコヴィアサポートセンターへお送りください。

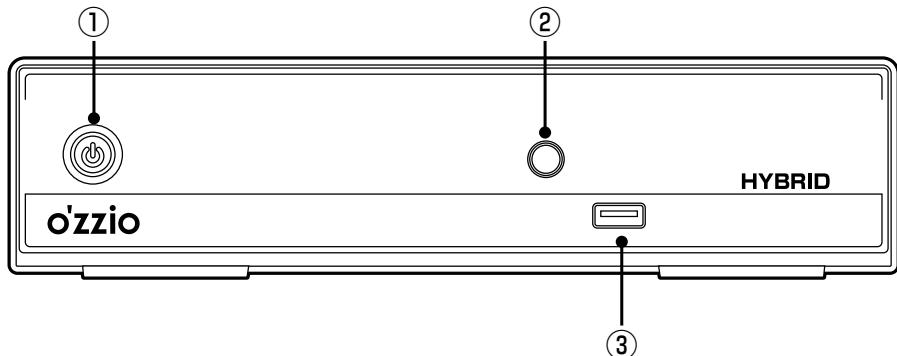
※付属の電池は動作確認用です。できるだけお早めに新しい電池とお取り換えください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名前と機能

本体およびリモコンの、各部の名前と機能を説明します。

本体前面



1. 電源ボタン

電源の ON/OFF を切り替えます。

2. リモコン受光部

リモコン信号の受光部です。

※受光部分の前に物を置いて、リモコン信号を遮ると操作が出来なくなりますのでご注意ください。

3. USB コネクター

録画用ハードディスク（別売）、キーボードとの接続、またファームウェアアップデート時などに使用します。

メモ

電源ボタンは、電源の ON/OFF だけでなく、内部に LED が入っており、本製品の状態によって、色と光り方が変化します。

色	光り方	本製品の状態
赤	点滅	起動中（約 60 秒）
赤	点灯	電源 OFF（スタンバイ）
青	点灯	電源 ON（操作中）または Live 録画中
紫	点灯	電源 OFF（録画中）

本製品の電源投入時の注意

本機には無操作時省エネのための「省電力状態」があります。

電源 OFF 状態からの電源 ON 操作では、映像はすぐに表示されますが、省電力状態からの電源 ON 操作においては、映像を表示するまで約 60 秒程度かかります。

本体の電源を OFF にすると電源 OFF 操作後約 50 分で、省電力状態に移行します。

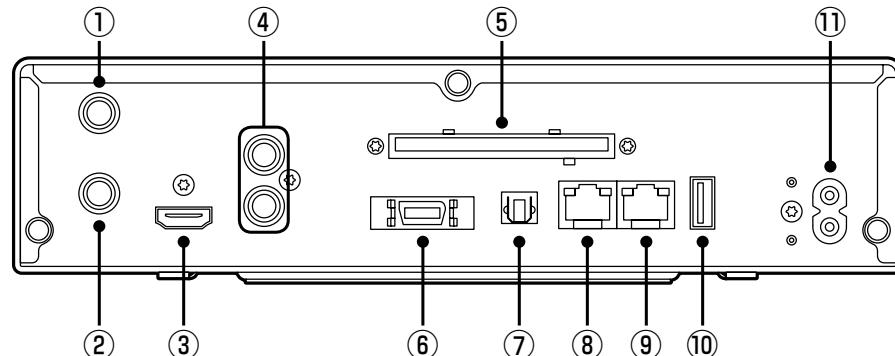
※終了処理中に電源コンセントや HDD を抜くと故障の原因となることがあります。

仕様をご理解の上、ご使用くださいますようお願い致します。

電源投入時の LED の表示

色	光り方	本製品の状態
赤	点滅	起動処理を行っています。（約：60秒） 点滅中は、本体・リモコンの操作はできません。 赤点灯になってから操作してください。
赤	点灯	本体・リモコンでの操作が可能です。 電源を入れて操作してください。

本体背面



1. 地上波デジタルアンテナ入力端子

地上波デジタル放送対応アンテナと接続します。

2. BS/110 度 CS アンテナ入力端子

BS または 110 度 CS デジタル放送対応のアンテナと接続します。

3. HDMI コネクター

HDMI ケーブル（別売）を接続します。

4. アナログ音声出力端子（赤・白）

AV ケーブル（別売）の音声端子（赤・白）を接続します。

5. B-CAS カード挿入口

付属の B-CAS カードを挿入します。

6. D 端子コネクター

D 端子ケーブル（別売）を接続します。

7. 光デジタル音声出力コネクター

デジタル音声ケーブル（光角形コネクター）（別売）を接続します。

8. パソコン

他のネットワーク機器を接続する場合に使用します（パソコンやゲーム機など）

9. LAN

インターネットに接続するため、モ뎀やルーターと LAN ケーブルで接続します。

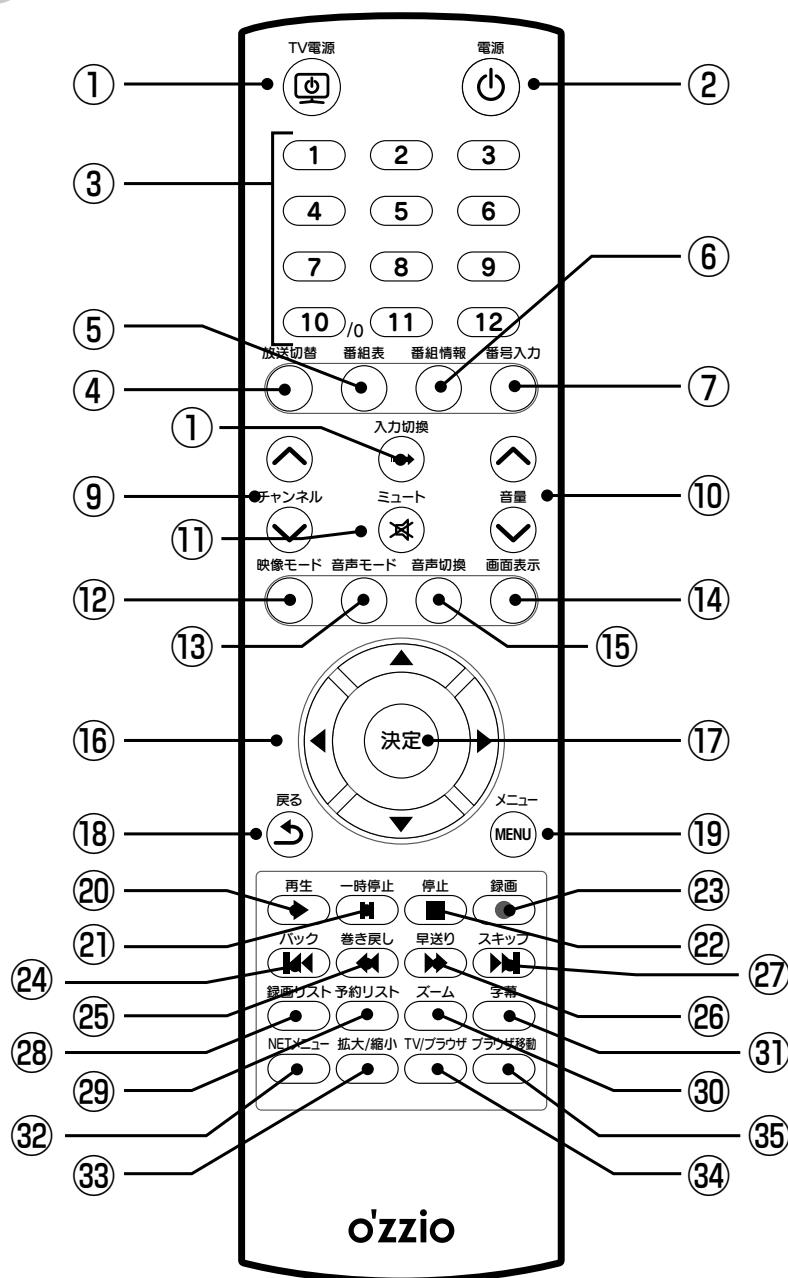
10. USB コネクター

録画用ハードディスク（別売）、キーボードとの接続、またファームウェアアップデート時などに使用します。

11. 電源コネクター

付属の AC ケーブルを接続します。

リモコン



No.	リモコンボタン	動作
①	TV 電源	テレビの電源 ON/スタンバイ状態を切り替えます。
②	電源	本製品の電源 ON/スタンバイ状態を切り替えます。
③	数字キー	設定メニューでは数字や文字を入力するキーとして使用します。 テレビ視聴中はチャンネルを変更します。
④	放送切替	地デジ、BS、CSなどの放送を切り替えます。
⑤	番組表	テレビ視聴中に電子番組表（EPG）の表示／非表示を切り替えます。
⑥	番組情報	現在視聴中の番組の詳細を表示します。 番組表を表示中は、選択した番組の詳細を表示します。
⑦	番号入力	チャンネルを3桁の番号で入力できるようにします。
⑧	入力切換	テレビの入力を切り替えます。
⑨	チャンネル順 / 逆	チャンネルを順 / 逆で選局します。
⑩	音量 + / -	テレビの音量を操作します。
⑪	ミュート	テレビの音を消音する／しないを切り替えます。
⑫	映像モード	表示映像のアスペクト比（映像の縦横長さの比率です）を切り替えます。 ※付属のテレビにのみ有効です
⑬	音声モード	出力音声の音質を切り替えます。 ※付属のテレビにのみ有効です
⑭	画面表示	番組情報の表示／非表示を切り替えます。
⑮	音声切換	音声を切り替えます。
⑯	方向キー	カーソルを移動します。
⑰	決定	選択した項目を決定します。
⑱	戻る	一つ前の画面に戻ります。

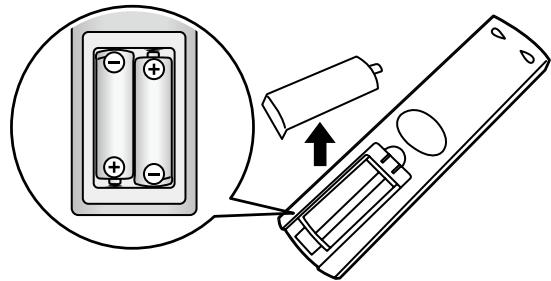
No.	リモコンボタン	動作
⑯	MENU	テレビメニューを表示します。
⑰	再生	録画した番組を再生します。
⑱	一時停止	録画番組の再生中に押すと再生を一時停止します。番組録画中に押した場合は録画を一時停止します。
⑲	停止	録画番組の再生を停止します。 (録画中の取り消しはしません)
⑳	録画	現在視聴中の番組を録画します。
㉑	バック	録画番組再生中に一回押すと15秒戻ります。
㉒	巻き戻し	再生中に押すと巻き戻しします。巻き戻し速度は押すごとに、×2、×4、×8、×20に変更できます。
㉓	早送り	再生中に押すと早送りします。早送り速度は押すごとに、×2、×4、×8、×20に変更できます。
㉔	スキップ	録画番組再生中に一回押すと30秒進みます。
㉕	録画リスト	録画済みの番組をリスト表示します。
㉖	予約リスト	予約録画の番組をリスト表示します。
㉗	ズーム	画面をズーム表示する／しないを切り替えます。
㉘	字幕	字幕放送の字幕の表示／非表示を切り替えます。
㉙	NETメニュー	インターネットへの接続用の設定を行なうメニューを表示します。
㉚	拡大／縮小	インターネットブラウザを使用するとき、テレビ映像やブラウザの拡大と縮小をします。
㉛	TV/ ブラウザ	メインスクリーン上の表示をテレビとインターネットと切り替えます。
㉜	ブラウザ移動	複数表示されるブラウザのスクリーンの移動を行ないます。

リモコンに電池を入れる

①リモコンのフタを取り外します。リモコン裏面のツメを手前に引きながら、フタを上に持ち上げて取外してください。

②付属の乾電池を入れます。⊕と⊖の向きはリモコンに記載されています。

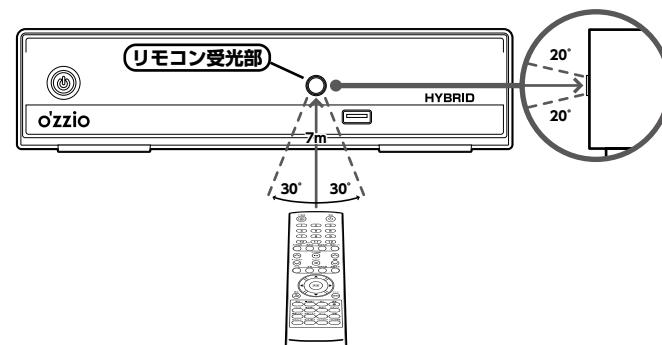
③フタを元どおりに取付けます。



△注意 ⊕と⊖の向きを確認して、正しく入れてください。

乾電池を交換する場合、2本とも新しい同じ種類のものに交換してください。

リモコンの使いかた



●リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

●リモコンを使用できる角度は、上下約20°、左右約30°です。

●リモコンを使用できる距離は、本機正面で約7m以内です。

●テレビを操作するときは、テレビのリモコン受光部に向けて操作してください。

リモコンでテレビを操作できるように設定する

本製品のリモコンでお使いのテレビの操作をすることができます。

- 1** リモコンの [決定] ボタンと [TV電源] ボタン 3 秒以上押します。
- 2** 決定ボタンと TV 電源ボタンを離したら、10 秒以内に、下の表を参照して、お使いのテレビにあった番号を入力します。
設定操作例 (SONY の場合)
ソニーの番号 “1701” を入力します。
- 3** お使いのテレビを操作できるかどうか確認してください。
例えば “1701” では操作できない場合は、“1702、1703、1704” のいずれかで設定してください。

メーカー	番号
AIWA	2401 ~ 2403
LG	0601 ~ 0605
Samsung	1401 ~ 1408
三洋	1501 ~ 1512
JVC	0301 ~ 0303
SHARP	1601 ~ 1606
Sony	1701 ~ 1704
東芝	2001 ~ 2005
パイオニア	1101 ~ 1102
Panasonic	0901 ~ 0911
日立	0401 ~ 0406
FUNAI	2301 ~ 2303
三菱	0701 ~ 0708

※メーカー名はあいうえお順です

△注意 出荷時の設定へのリセット方法

※出荷時の状態に戻すには、番号を “0000” と入力ください。

制限事項

本製品には以下の制限事項があります。

■本製品は、デジタル放送の双方向サービスには対応しておりません。

■製品本体からの放熱について

本製品を使用中に本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありません。製品本体から放熱する構造となっていますので、設置には次の事項に注意してください。

- ・本製品の上に物をのせないでください。
- ・本製品の周囲には通気に必要なスペースを十分にあけてください。

■本製品に USB ハードディスクを接続して録画する場合、次の制限があります。

- ・字幕放送の録画には対応していません。
- ・番組によっては録画再生時の音声の切り換え（主／副音声）ができないことがあります。
- ・番組の録画データは、著作権保護のために暗号化されています。録画に使用した本体とハードディスクのみで再生が可能です。

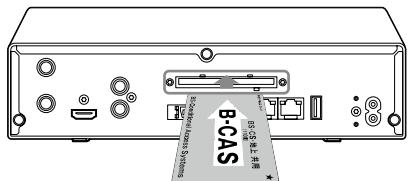
機器の準備・接続

本製品を使用するために必要な準備、接続方法について説明しています。

B-CAS カードをセットする

B-CAS カードはデジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。本製品に付属の B-CAS カードをセットする必要があります。

右図のように矢印マークのある方を上にして背面の挿入口に B-CAS カードを挿入してください。



△注意 [B-CAS カードの取り扱い上のご注意]

- B-CAS カードをセットするときには、裏向きや逆方向で挿入しないでください。
挿入方向を間違えると B-CAS カードは機能しません。
- また、B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
本製品ご使用中は、抜き差ししないでください。視聴できなくなることがあります。
- 折曲げたり、傷つけたり、変形させたりしないでください。
- 重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属端子 (IC [集積回路] 部) には触れないでください。
- 水をかけたりぬれた手でさわったりしないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- B-CAS カードを抜く場合は、必ず AC プラグを AC コンセントから抜き、ゆっくりと B-CAS カードを抜いてください。

[B-CAS カード保管の際の注意]

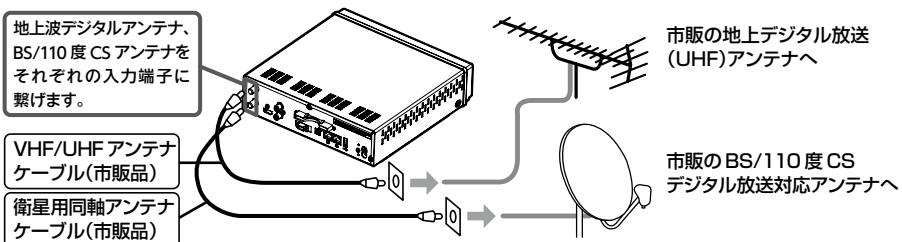
- 付属の B-CAS カードは、デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。
破損や紛失した場合は、ただちに下記の B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。
破損や紛失がお客様の原因で発生した場合は、再発行費用が請求されます。あらかじめご了承ください。
- また、第三者がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はお客様に請求されますので保管をする際にはご注意ください。

B-CAS カードについては

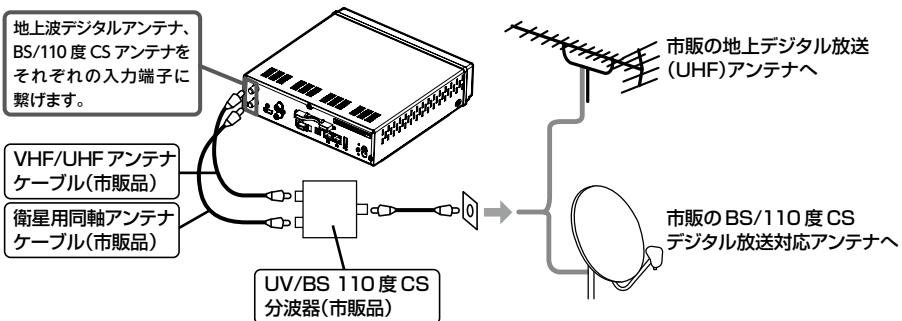
B-CAS カードカスタマーセンター (TEL: 0570-000-250) にお問い合わせください。

本製品をアンテナに接続する

地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送の信号が混合アンテナでない場合



地上デジタル放送と BS/110 度 CS デジタル放送の信号が混合アンテナの場合 (マンションなど)



- △注意
- F 型コネクター以外のアンテナケーブルで取り付ける場合、別途変換アダプターをご用意ください。
 - すでに壁のアンテナ端子とテレビを接続している場合は、市販のアンテナ分配器を使用して、アンテナ線を分配して接続することで本製品とテレビの両方で接続することができます。
 - ケーブルテレビをご利用の場合 (ケーブルテレビ専用チューナーに接続する場合)、ケーブルテレビがバススルー方式に対応している必要があります。取り付けについてはケーブルテレビのご契約会社にご相談ください。

次へ 本製品をアンテナに接続します。[P.19]

次へ 本製品をテレビに接続します。[P.20]

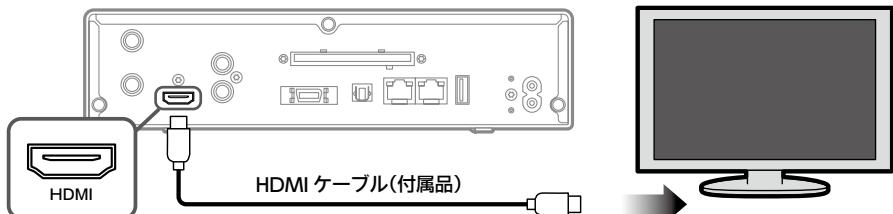
本製品をテレビに接続する

お使いのテレビの HDMI コネクターや D 端子に本製品を接続します

△注意 複数の映像出力端子を同時に接続して使用することは推奨いたしません。

HDMI コネクターに接続する

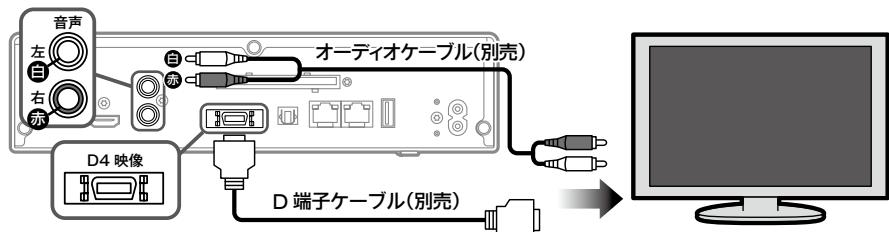
お使いのテレビに HDMI 端子がある場合、より高品質な映像をご覧頂く事ができます。
付属の HDMI ケーブルを使用して、本製品とテレビの HDMI 端子を接続します。



→次へ 本製品に電源ケーブルを接続します。[P.23]

D 端子に接続する

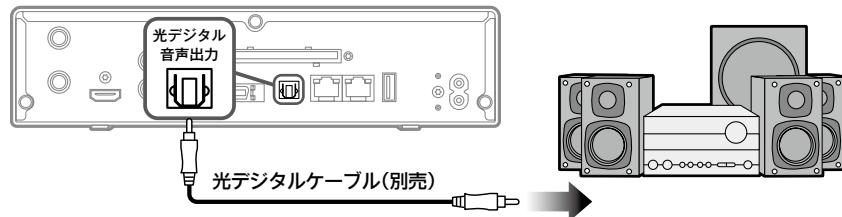
お使いのテレビに D 端子がある場合、下図を参考に接続してください。
D 端子に接続するには、市販の D 端子ケーブルと音声出力用にオーディオケーブルが必要となります。



→次へ 本製品に電源ケーブルを接続します。[P.23]

本製品に音響機器を接続する場合

市販の光デジタルケーブルで本製品の光デジタル音声出力端子とホームシアターシステムなどを接続して、より高品質な音声を楽しむ事ができます。接続する音響機器がドルビーデジタルに対応している場合には、さらに迫力のある音声を楽しめます。

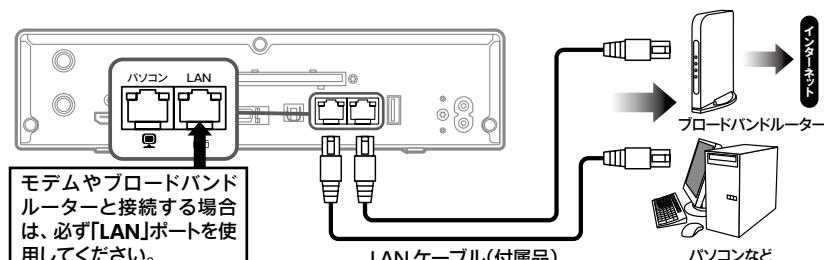


→次へ 本製品に電源ケーブルを接続します。[P.23]

本製品をネットワーク機器に接続する

本製品を付属の LAN ケーブルでモ뎀やブロードバンドルーターに接続して、インターネットを利用することができます。

△注意 • 本製品でインターネットを利用するには、サービスプロバイダーなどの接続業者と別途ご契約が必要となります。

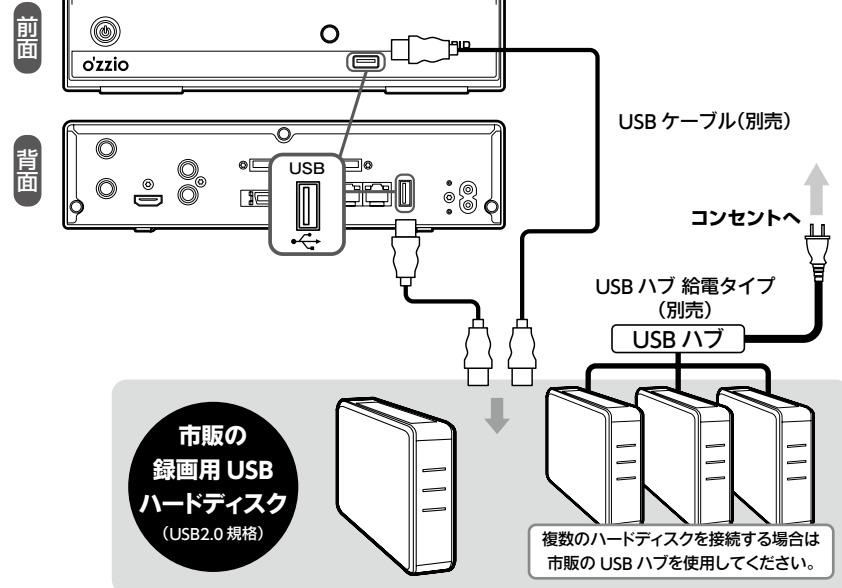


モ뎀やブロードバンドルーターと接続する場合は、必ず「LAN」ポートを使用してください。

→次へ 本製品に電源ケーブルを接続します。[P.23]

本製品に録画用ハードディスクを接続する

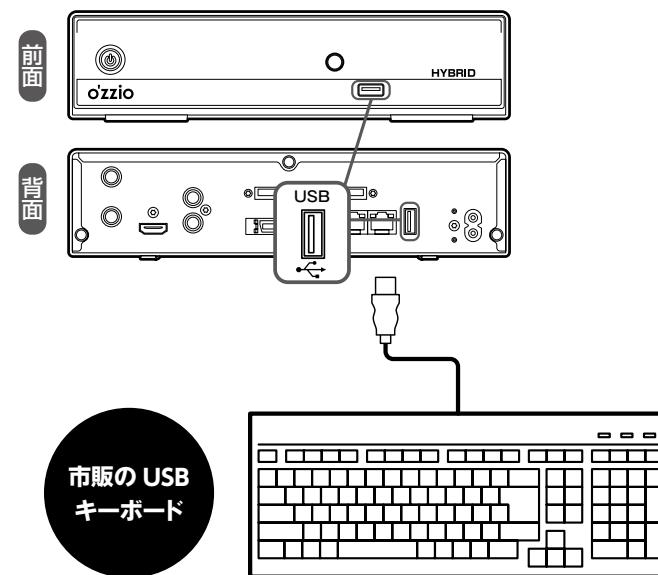
本製品のUSBコネクターに、市販のUSBハードディスク(USB2.0)を接続する事で、デジタル放送の番組を録画・視聴することができます。



- △注意**
 - USBハードディスクアクセス中(番組録画/再生中)に本製品からハードディスクを取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常に行なえなくなることがありますのでご注意ください。
 - USBハードディスクにアクセスしていない状態であればそのまま取り外していただけます。
 - 本製品に接続できるハードディスクの最大同時接続数は7台です。2台以上のUSBハードディスクを使用するときは、市販のUSBハブに接続してから本製品のUSBコネクターに接続してお使いください。
 - USBハブは給電タイプのものを使用してください。バスパワータイプのものでは動作しない、もしくは動作が不安定になる場合があります。
 - 本製品の初期設定時、またはファームウェアのアップデート時は、本製品にUSBハードディスクなどの機器を接続しないでください。

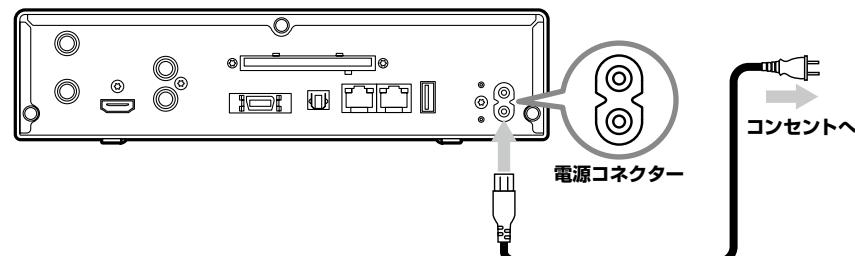
本製品にキーボードを接続する

本製品のUSBコネクターに、市販のUSBキーボードを接続して使用することができます。



本製品に電源ケーブルを接続する

付属の電源ケーブルを本製品背面の電源入力端子とコンセントに接続します。



→ 次へ 本製品の初期設定をします。[P.24]

本製品の初期設定をする

本製品の初期設定を行います。

△注意 初期設定時、本製品のUSBコネクターにはハードディスク等の機器を接続しないでください。
本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

1

テレビの電源を入れ、テレビのリモコンの【入力切換】ボタンや【ビデオ】ボタンを押して、テレビの入力切換を行い、本製品が接続されている入力に切り替えます。

2

本製品にACケーブルをつなぎ、本製品の電源ランプが青色に点灯したことを確認します。

初めて電源を入れた場合と、機器の設定を初期化した場合は、右図の【初期設定】画面が表示されます。

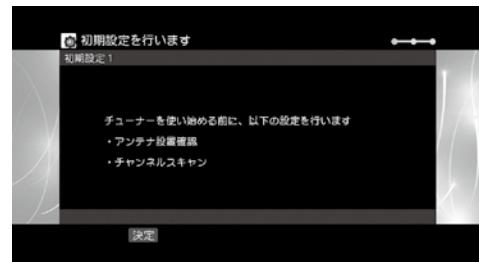
TVアンテナ線が正しく接続されていることを確認し、リモコンの【決定】ボタンを押します。

3

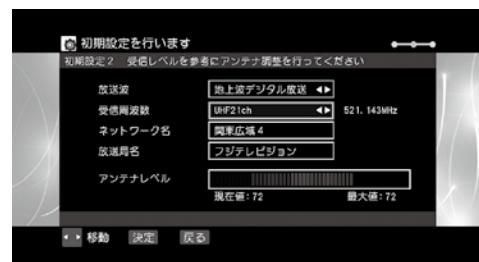
TVアンテナの受信レベルが測定されます。リモコンの【▲▼◀▶】を押して、ご利用される放送波（地上波デジタル・BS・110度CS）と、受信周波数を選択します。

選択した周波数で正常に受信出来ているかを確認し、問題がなければリモコンの【決定】ボタンを押します。

△注意 •受信可能なアンテナレベルの目安は50以上です。45未満だとチャンネルスキャンの対象外となります。



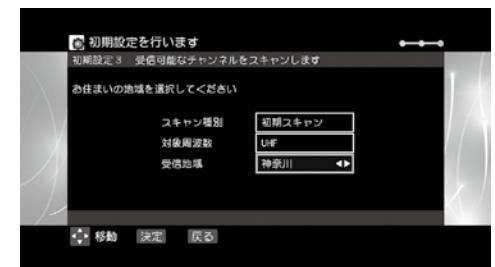
参考 リモコンのボタンを確認する。[P.12]



参考 本製品をアンテナに接続します。[P.19]

4

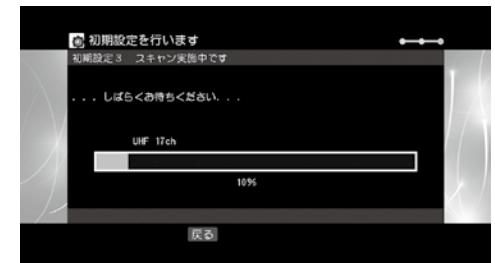
受信可能なチャンネルのスキャンを行います。【初期スキャン】リモコンの【▲▼◀▶】キーを押して、スキャン種別【初期スキャン】、対象周波数【UHF】、受信地域【ご利用される地域】を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押してください。



△注意 ケーブルテレビをご利用の方は、対象周波数を全周波数に設定してください。

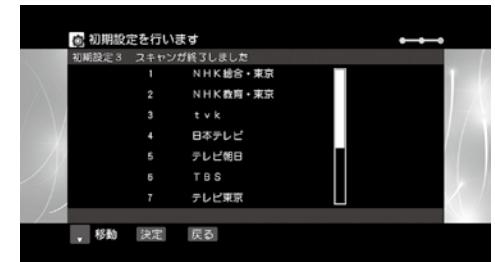
5

本製品が自動でスキャンをはじめますのでしばらくお待ちください。



6

スキャンが完了すると、ご利用地域で受信出来るチャンネルの一覧が表示されます。正しくスキャンが行なわれたことを確認し、リモコンの【決定】ボタンを押します。



リモコンの【決定】ボタンを押すと、TVの視聴画面に切り替わります。これで初期設定は完了しましたので、TVの視聴が可能となります。また、リモコンのチャンネルボタンには視聴可能なチャンネルがすでに設定されていますので、ご利用地域の放送局が視聴できるかをご確認ください。

参考 リモコンのボタンを確認する。[P.12]

次へ その他の設定をする。[P.26]

その他の設定をする

リモコン、画面表示、機器情報などに関する設定を行います。お使いの環境で必要に応じて設定を行なってください。

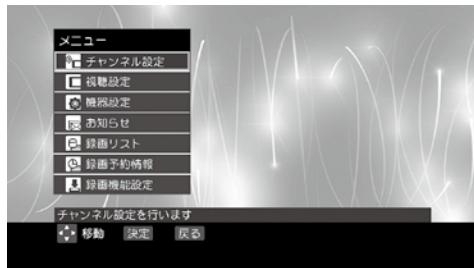
リモコンのチャンネルボタン設定をする

付属のリモコンのチャンネルボタンを使いやすい様に割り当てます。

 **参考** リモコンのボタンを確認する。[P.12]

1

リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。【チャンネル設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

【チャンネル設定】メニューから、リモコンの【▲▼◀▶】キーを押し、【リモコン設定】を選択しリモコンの【決定】ボタンを押します。



3

【地上波デジタル放送の場合】

リモコンの【▲▼◀▶】キーを押し、【地デジ設定】を選択しリモコンの【決定】ボタンを押します。



4

現在設定されている一覧が表示されます。リモコンの【▲▼◀▶】キーを押して、変更したい放送局を選択し、新たに登録したい番号のリモコンの【数字キー】ボタンを押します。新たなチャンネル番号が入力されます。設定が終わったらリモコンの【決定】ボタンを押して設定を完了します。



5

【BS 放送の場合】

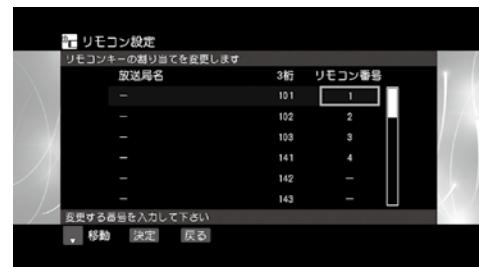
【110度 CS 放送の場合】

【リモコン設定】のメニューからそれぞれの放送受信時の設定を呼び出してください。



6

④と同様に割り当たい放送局を選択し、リモコンの【数字キー】ボタンを設定します。



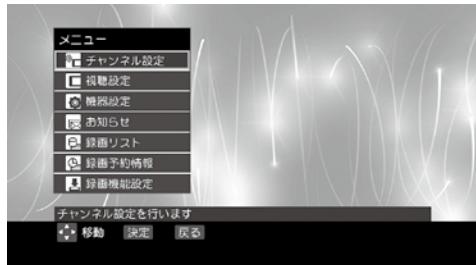
受信チャンネルを再設定する

初期設定時に設定した内容に変更があった場合（転居、放送局の新設や中継局の開局など）には受信チャンネルの再設定を行なう必要があります。

△注意 「CATVをご利用の場合は、ご契約のCATV会社に伝送方式をお問い合わせください。
本製品は、バスルート方式に対応しておりますが、その他の伝送方式には対応しておりません。」

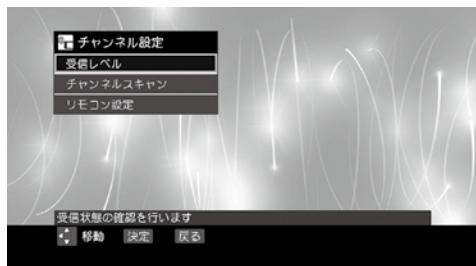
1

リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【チャンネル設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



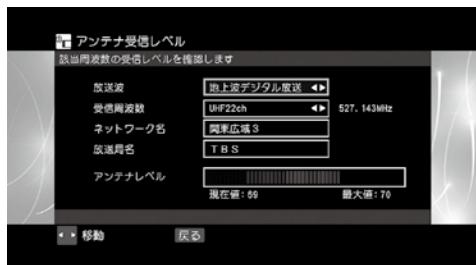
2

アンテナ線を接続し直したり、追加した場合は、再度アンテナの受信レベルを確認します。
【チャンネル設定】メニューから【受信レベル】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



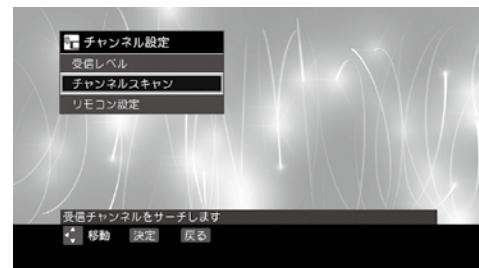
3

接続し直したり、新たに追加した放送が正しく受信が出来ているか確認してください。



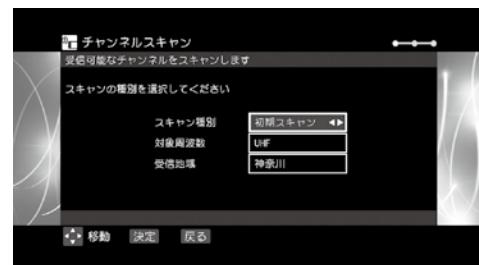
4

アンテナ受信レベルが正常に受信出来ていることを確認したら、【チャンネル設定】メニューから、リモコンの【▲▼◀▶】キーを押して、【チャンネルスキャン】を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押します。
再度受信可能チャンネルのスキャンを行います。



5

リモコンの【▲▼◀▶】キーを押し、用途に合わせて【スキャン種別】【対象周波数】【受信地域】を設定し、リモコンの【決定】ボタンを押すと再度チャンネルスキャンを行います。



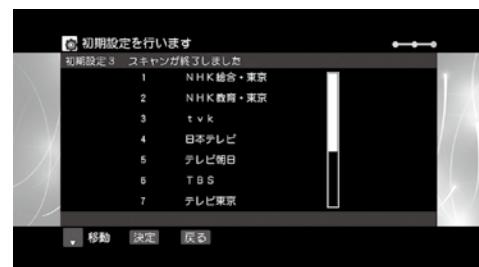
初期スキャン：これまでのチャンネル情報は削除され、新たに地域別の受信チャンネルを設定します。

再スキャン：現在のチャンネル情報を保持したまま、新たに指定地域の受信チャンネルを設定します。

対象周波数：「UHF」を選択した場合は、「UHF」のみを、「全周波数」を選択した場合は、「UHF」「VHF」「CATV」を含めた周波数をスキャンします。

6

スキャンが完了すると、ご利用地域で受信出来るチャンネルの一覧が表示されます。正しくスキャンが行なわれたことを確認し、リモコンの【決定】ボタンを押します。



参考 本製品をアンテナに接続する。[P.19]

お使いのテレビの画面に合わせた表示にする

お使いになるテレビ画面に合わせた表示設定をします。

ワイドテレビ : ワイドテレビに接続する場合

4:3 レターボックス : 標準テレビに接続する場合

D 端子設定の出力解像度の初期値 : 1080i

*お使いのテレビが D3/D4 端子対応、もしくは HDMI 端子対応のテレビの場合には、より高画質な映像をお楽しみ頂くために、1080i または 720p(D4 端子の場合)に設定してください。

1

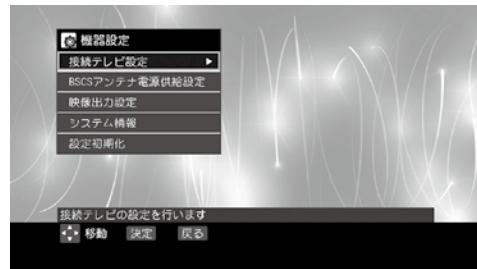
リモコンの [メニュー] ボタンを押して設定メニューを表示します。

[機器設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。



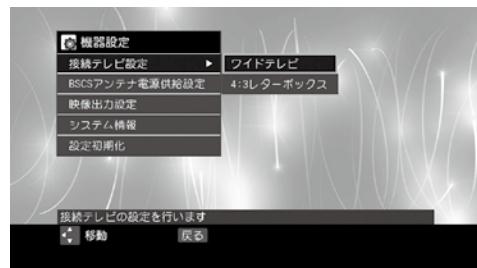
2

[機器設定] メニューから [接続テレビ設定] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。



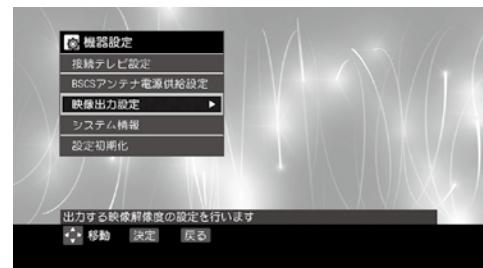
3

ご利用のテレビに合った設定を選択します。リモコンの [▲▼◀▶] キーで、16:9 のワイド表示が可能なテレビの場合は [ワイドテレビ] をワイド表示が出来ない通常のテレビは [4:3 レターボックス] を選択して、リモコンの [決定] ボタンを押します。



4

ご利用のテレビに最適な解像度出力を設定します。[機器設定] メニューからリモコンの [▲▼◀▶] キーを押して、[映像出力設定] を選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。



5

本製品が接続されているテレビと接続方法から最適な解像度を選択しリモコンの [決定] ボタンを押します。



■出力解像度の参考例

デジタル出力 (HDMI 接続の場合) →	480i、480p、720p、1080i、【1080i <初期値>】、 1080p から指定します。
アナログ出力 (D 端子接続の場合) →	480i、480p、720p、1080i、【1080i <初期値>】 から指定します。

*詳しくは接続しているテレビの取扱説明書などを読みください。

➡ 参考 テレビの接続方法を確認する。[P.20]

△注意

本製品では、D 端子設定の初期値が 1080i となっております。

お使いのテレビが D1/D2 端子対応のテレビの場合には、正常に表示されないことがあります。
その場合には、以下の手順で解像度の設定を変更してください。

- ① 電源 ON の状態で本製品から B-CAS カードを抜きます。
- ② フロントパネルの電源ボタンを長押して本製品をスタンバイ状態にします。
- ③ 再びフロントパネルの電源ボタンを押下して ON 状態にしてください。
- ④ 自動的に 480i (D1) にて起動します。
- ⑤ このままで設定は変更されませんので、上記の④、⑤の [映像出力設定] の設定を参照して、本製品の出力解像度を 480i もしくは 480p に設定してください。

字幕・文字スーパーの表示

デジタル放送では、放送されている映像・音声の他に字幕や文字スーパーなどが付加して送られています。この設定により、字幕・文字スーパーが放送に付加して送られている場合に、表示することができます。

字幕：放送に連動した音声字幕

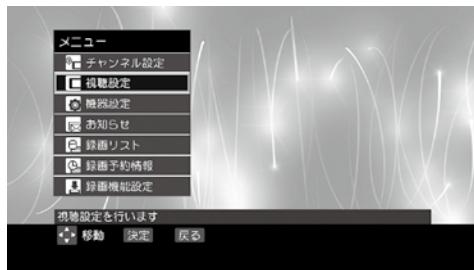
文字スーパー：放送に連動しない字幕サービス（ニュース速報、災害情報など）

字幕ボタンにより、表示ON/OFFは切り替えられ、その最終状態がこの設定値として保存されます。

1

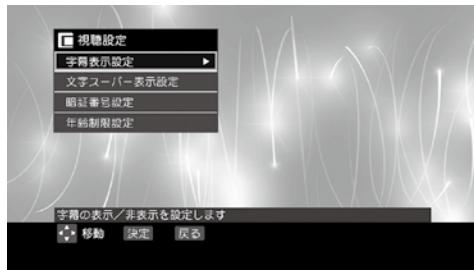
リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。

リモコンの【▲▼◀▶】キーを押して、【視聴設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



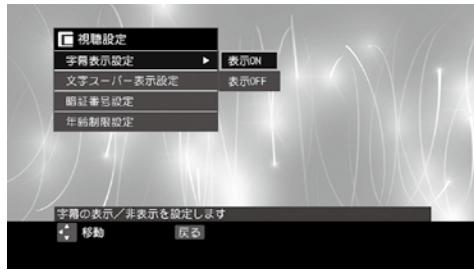
2

【視聴設定】メニューから【字幕表示設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



3

リモコンの【▲▼◀▶】キーで「表示ON」または「表示OFF」のいずれかを選択し、リモコンの【決定】ボタンを押します。

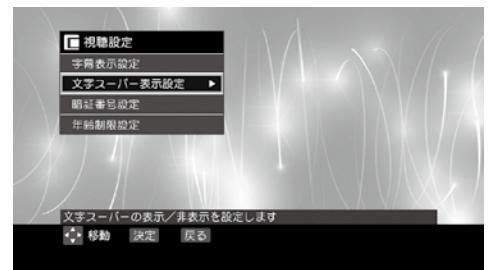


→参考 視聴中に字幕を表示する [P.47]

4

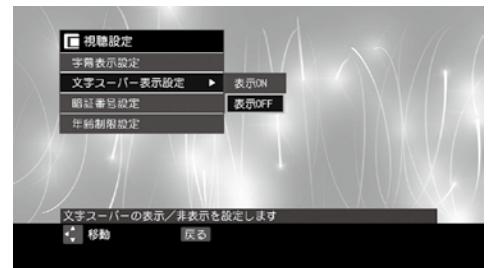
ニュース速報、地震情報などの字幕情報サービスの表示設定を行います。

【視聴設定】メニューから【文字スーパー表示設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



5

リモコンの【▲▼◀▶】キーで「表示ON」または「表示OFF」のいずれかを選択し、リモコンの【決定】ボタンを押します。



暗証番号を設定して視聴を制限する

本製品に暗証番号を設定して視聴を制限することができます。

1

- リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【視聴設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

- 【視聴設定】メニューから【暗証番号設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



3

- 認証画面が表示されます。はじめ暗証番号を設定する場合は、出荷時の暗証番号「0000」を入力、すでに暗証番号を設定している場合は、設定した暗証番号を入力してリモコンの【決定】ボタンを押してください。

暗証番号の変更画面が表示されま
すので、新たな暗証番号を入力して
リモコンの【決定】ボタンを押して
暗証番号を設定します。



4

- テレビ視聴に年齢制限を設ける場合には、【視聴設定】メニューから【年齢制限設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



5

- 認証画面が表示されます。
暗証番号を設定していない場合は出荷時の暗証番号「0000」を、③で新たな暗証番号を設定した場合は新たな暗証番号を入力して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



6

- 年齢設定画面が表示されるので、視聴を制限したい年齢を選択してリモコンの【決定】ボタンを押します。



年齢制限設定をしておくと、一部のCS放送などの視聴年齢制限がある番組では③で設定した「暗証番号」の入力を求められます。これにより設定した年齢以下の子供にはふさわしくない内容の番組などを視聴させないようにすることができます。(ペアレンタルロック機能)

BS/110度CSアンテナの電源を管理する

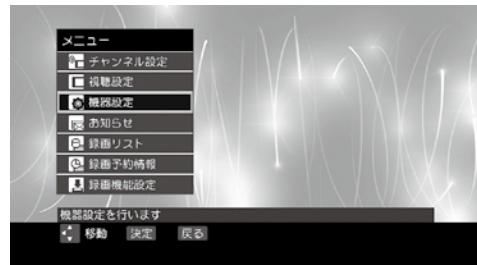
本製品から、BS/110度CSデジタル放送用の衛星アンテナに電源を供給する、または供給しないの設定をします。

個人で衛星アンテナを設置している場合は、『供給あり』に設定してください。マンションなどで、共同アンテナを利用する場合は、『供給なし』に設定してください。

なお、BS/110度CSデジタル放送をご覧にならない場合には、『供給なし』に設定してください。

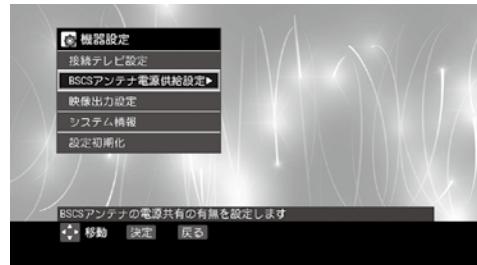
1

- リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【機器設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

- 【機器設定】メニューから【BSCSアンテナ電源供給設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



3

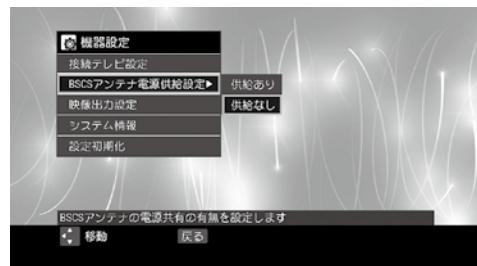
- 「供給あり」または「供給なし」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。

「供給あり」の場合→

衛星アンテナ（BSCSアンテナ）へ電源を供給します。

「供給なし」の場合→

衛星アンテナ（BSCSアンテナ）へ電源を供給しません。



システム情報を表示する

本製品に挿入されているB-CASカードの情報やシステムのバージョン情報を表示します。

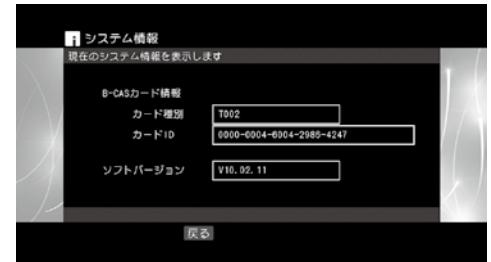
1

- リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【機器設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。
【機器設定】メニューから【システム情報】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

- B-CASカードの情報と本製品のシステムソフトウェアのバージョンが表示されます。

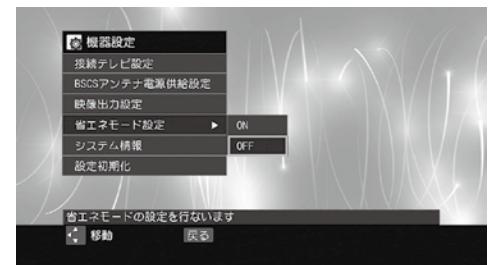


省エネモードを使用する

本製品の電源をOFFにした状態で、スタンバイ時の消費電力を低く抑えます。

1

- リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【機器設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。
【機器設定】メニューから【省エネモード】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



「ON」：番組情報の更新を定期的な更新のみにして消費電力を抑えます。

「OFF」：電源を切っている時も常に番組情報を自動更新します。

必要に応じて「ON」「OFF」を選択してください。

△注意 出荷時設定では「省エネモード」は「ON」になっています。「省エネモード」を使用すると、定期的な更新のみを行うため、電源を入れた時に最新の番組情報が表示されない場合があります。

インターネットへの接続設定をする

本製品から、インターネットを利用するための接続設定を行います。本製品は有線 LAN と Wi-Fi (無線 LAN) のいずれかの接続を行なうことができます。ご利用の環境に合わせて設定を行なってください。

△注意 ※ネットワークの設定は、本書と合わせて、お使いのモ뎀やルーターの取扱説明書および、サービスプロバイダーなどの接続手引きもお読みください。

1

●接続方法の設定

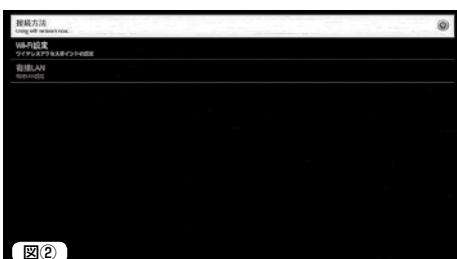
リモコンの [NETメニュー] ボタンを押してください。

【ネットワーク設定】を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

(図①)

【接続方法】を選択し、[Wi-Fi] または [Ethernet] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

(図②、図③)



Wi-Fi を選択した場合



● Wi-Fi 設定に進んでください。



次へ Wi-Fi 設定 [P.39]

Ethernet を選択した場合



●有線 LAN 設定に進んでください。



次へ 有線 LAN 設定 [P.40]

2

● Wi-Fi 設定

[Wi-Fi 設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押すと、利用可能なアクセスポイントが表示されます。(図④)

その中から、接続するアクセスポイントを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

アクセスポイントによっては、パスワードを要求される場合があります。その場合は、パスワードを入力し、「接続」を選択して下さい。

接続先を追加する場合は [Wi-Fi ネットワークを追加] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

ネットワーク SSID やセキュリティなど必要項目を入力し「保存」を選択すると Wi-Fi ネットワークが追加されます。(図⑤)



図④
図⑤

3

●有線 LAN 設定

〔Ethernet〕を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押します。(図⑥)

次に〔有線 LAN〕を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押します。(図⑦)

静的 IP アドレスを使用する場合は「静的IPを使用する」を選択します。(図⑧)
選択されると、右のチェックボックスにチェックが入ります。(図⑨)

次に、「IP アドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS」を選択し入力します。(図⑩)

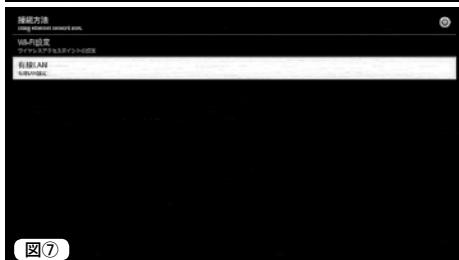
入力後「OK」を選択すると、設定されます。

入力内容を変更する場合は、変更したい項目を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押し、再度入力してください。
入力後「OK」を選択すると、設定されます。

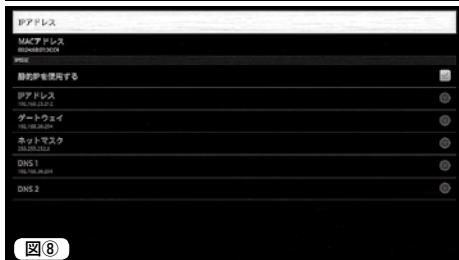
DHCP で接続する場合は「静的 IP を使用する」の右のチェックボックスを外します。



図⑥



図⑦



図⑧



図⑨



図⑩

インターネット機能設定

本製品でインターネットを使用した様々な機能を使うための設定します。

1

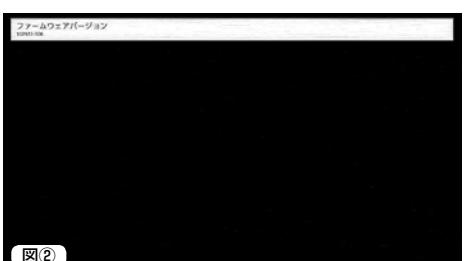
●機器情報

リモコンの〔NETメニュー〕ボタンを押し〔機器情報〕を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押します。(図①)

現在のファームウェアバージョンが表示されます。(図②)



図①



図②

2

リモコンの〔NETメニュー〕ボタンを押し〔本機の設定〕を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押します。(図③)



図③



次のページに続きます。[P.42]

3

●ソフトウェアアップデート

〔ソフトウェアアップデート〕を選択して、(図④) リモコンの〔決定〕ボタンを押すと「アップデート確認画面」が表示されます。(図⑤)

「YES」を選択すると、自動的にアップデートが開始されます。所要時間は約15分です。

「NO」を選択すると、アップデートはキャンセルされます。

ファームウェアが最新の場合はメッセージが表示されます。(図⑥)



4

●ソフトウェアアップデート通知

ソフトウェアアップデートが可能な状態を検知した際には、画面のバナー上部の右端にメールアイコンが表示されます。〔お知らせ〕メニューから〔お知らせメール〕をご確認ください。



参考 お知らせを表示する。[P.59]

△注意

※ご利用環境によって、所用時間が変わることがあります。

※ファームウェアアップデート中は、電源を抜かないでください。

※ファームウェアアップデート後の再起動には、時間がかかる場合があります。

ファームウェアのアップデートは必ず行ってください。

定期的にファームウェアはアップデートされますので常に最新の状態にしてください。

5

●サブスクリーン設定

〔サブスクリーン設定〕を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押すと〔サイトの設定画面〕が表示されます。(図⑦)

リモコンの〔▲▼◀▶〕キーを使用して、サブスクリーンを選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押しフォーカスを当てます。

画面中央のプルダウンリストから、ご希望のカテゴリーを選択すると、画面上部にカテゴリーに該当するサイト一覧が表示されます。リモコンの〔▲▼◀▶〕キーを使用して、設定したいサイトを選択します。(図⑧)

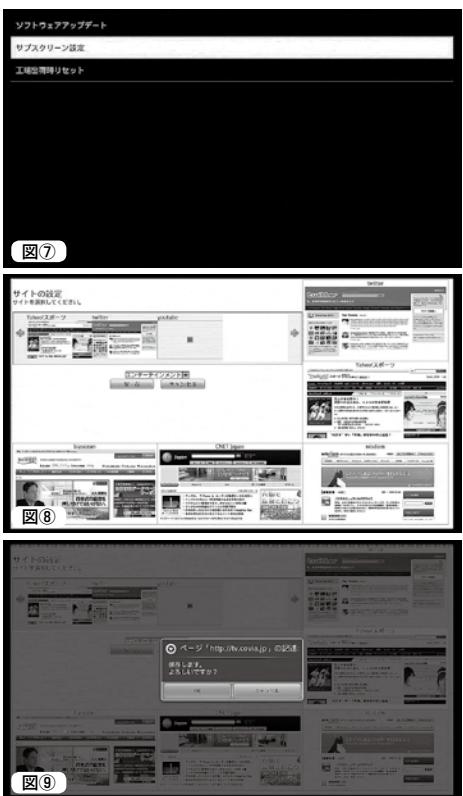
上記操作を繰り返すことで、5つのサブスクリーンの設定が行えます。

「保存」を選択し、リモコンの〔決定〕ボタンを押すと確認画面が表示されます。(図⑨)

「OK」を選択すると、テレビとサブスクリーン画面が表示され、設定の確認ができます。

「キャンセル」を選択すると、設定はキャンセルされます。

△注意 本設定は、PC DEPOT プレミアムメンバー会員の方のみ有効となります。

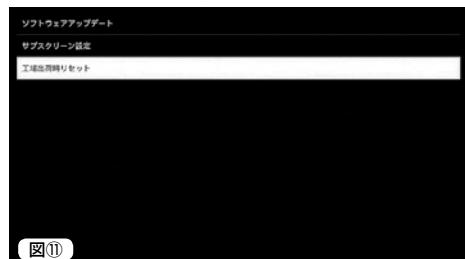
**次へ**

次のページに続きます。[P.44]

6

●工場出荷時リセット（初期化）

〔工場出荷時リセット〕を選択し、(図⑪)リモコンの〔決定〕ボタンを押すと確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると、工場出荷時のサブスクリーン設定に戻ります。
「NO」を選択すると、工場出荷時リセットはキャンセルされます。(図⑫)



図⑪



図⑫

△注意 この機能で初期化されるのはネットワークに関する設定だけです。本製品の設定をすべて初期化するには次のページの〔設定初期化〕を行なってください。



本製品を初期化する。[P.45]

本製品を初期化する

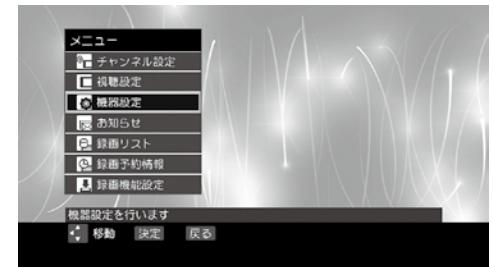
本製品を工場出荷時の状態にリセットします。

△注意 設定初期化時には、機器やデータが破損する恐れがありますので、本製品のUSBコネクターにはハードディスク等の機器を接続しないでください。
チャンネル設定や録画予約情報など全ての設定が消去されますのでご注意ください。
※ハードディスクに録画された番組は、ハードディスクを初期化しない限り、再度ハードディスクを登録することで視聴が可能になります。

参考 新しいハードディスクを登録する [P.49]

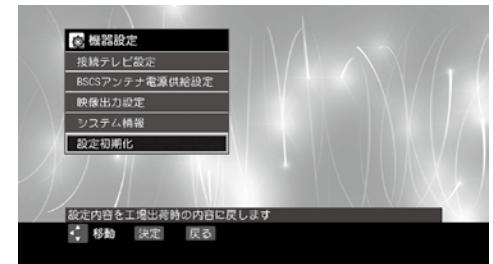
1

リモコンの〔メニュー〕ボタンを押し
て設定メニューを表示します。
〔機器設定〕を選択して、リモコン
の〔決定〕ボタンを押します。



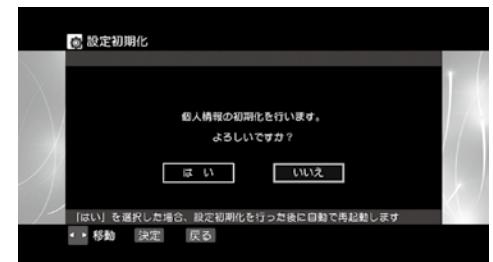
2

〔機器設定〕メニューから〔設定
初期化〕を選択して、リモコン
の〔決定〕ボタンを押します。



3

初期化を行なうメッセージが表
示されます。「はい」を選択して、
リモコンの〔決定〕ボタンを押
してください。
初期化が完了すると自動で再起
動しますのでしばらくお待ちく
ださい。



△注意 再起動が完了するまで2分ほどかかります。その間、機器やデータが破損する恐れが
ありますので、絶対に電源を切ったり機器を接続したりしないでください。

デジタル放送の視聴・録画

地上デジタル、BS/110度CSデジタル放送の視聴、録画予約について説明しています。

デジタル放送を視聴する

本製品では「地上デジタル」、「BSデジタル」、「110度CSデジタル」の3種類を受信することができます。これらを切り替えて視聴したり、電子番組表(EPG)、字幕、番組情報などのデジタル放送の各種サービスを利用することができます。

地デジ、BS、CSを切り替える

リモコンの[放送切替]ボタンを押して、それぞれの放送に切り替えることができます。

地上波デジタル→BSデジタル→110度CSデジタルの順で切り替わります

 **参考** リモコンのボタンを確認する。[P.12]

△注意 地上/BS/110°CSデジタル放送の視聴について

- 既存のアンテナ設備では、デジタル放送を受信できない場合があります。その場合は、デジタル放送対応アンテナを接続してください。
- アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整して頂くか、もしくはデジタル放送対応のブースターで電波を增幅してください。
- 放送局の受信エリア内であっても、ご利用場所の電波受信状況によってはご視聴いただけない場合があります。(建物や地形などにより電波が遮られる場合など)
- 受信電波が不安定な場合、ブラックノイズが現れたり映像が途切れたりすることがあります。
- BSデジタル放送、110°CSデジタル放送の受信には、各デジタル放送に対応した衛星アンテナが必要です。
- 分配器やブースター等をご利用の場合は、各デジタル放送に対応した機器が必要です。
- BSやCSの有料放送を受信するには、各放送サービス会社との契約が必要です。

ケーブルテレビ(CATV)の視聴について

- ケーブルテレビ会社からの配信方式がパススルー方式であれば、本製品をご利用いただけます。
 - 配信方式については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
 - CATVを受信している時は電子番組表のデータが受信できない場合があります。CATV会社にご確認ください。
- (CATV局側で放送局の電波を改変せずに再送信している場合は利用できます。)

視聴中に様々な情報を表示する

デジタル放送視聴中にリモコンの[画面表示]ボタンを押すと、現在視聴しているチャンネル番号、番組名などが表示されます。この画面は5秒間表示されると元の画面に戻ります。[視聴設定]画面で設定していただくことで常に表示することもできます。

また、[番組詳細]ボタンを押すことで番組の詳細情報を表示することができます。

①が表示されている間に再度、[画面表示]ボタンを押すと、②のようにチャンネル番号のみ表示されます。



 **参考** リモコンのボタンを確認する。[P.12]

視聴中に字幕を表示する

地上波デジタル視聴中にリモコンの[字幕]ボタンを押すと、放送番組の音声の字幕を表示することができます。[視聴設定]画面で設定していただくことで常に表示することもできます。

 **参考** リモコンのボタンを確認する。[P.12]
字幕・文字スーパーの表示。[P.32]

音声を切り換える

[音声切換]ボタンを押すことで、現在の音声情報が表示されます。このボタンを押すたびに、切り換える音声がある場合には、最大8音声まで切り換えることができます。

また、二重音声番組の場合には、主音声→副音声→主／副音声の順に切り換わります。

 **参考** リモコンのボタンを確認する。[P.12]

チャンネル番号を入力してチャンネルを切り替える

リモコンのチャンネルボタンに登録されていないチャンネルなどを選局するには、リモコンの[番号入力]ボタンを押して、チャンネル番号入力に切り替えます。番号入力欄が表示されますので、チャンネルボタンを使用してチャンネル番号(3桁)を入力してください。

 **参考** リモコンのボタンを確認する。[P.12]

電子番組表（EPG）を使用する

テレビ番組視聴中に、リモコンの【番組表】ボタンを押すと電子番組表（EPG）をテレビ画面に表示させることができます。電子番組表に表示されるのは、現在視聴している放送局の番組表です。

また、番組表表示中には以下の操作をすることができます。

【視聴・録画予約】

番組表から番組を選択し、リモコンの「決定」ボタンを押すと、番組の詳細情報が表示され、現在放送されている番組の場合は、「視聴」または「録画予約」、これから放送される番組は「録画予約」を選択することができます。

※放送中の番組を「録画予約」した場合は予約登録時から番組終了時間まで（またはP.51のダイレクト録画時間設定で設定されている時間）での録画となります。

【移動】

リモコンの「◀」「▼」「▶」「▲」ボタンを押して番組表を移動することができます。
 「◀」「▶」を押すことで、チャンネルを移動します。
 「▼」「▲」を押すことで、時間帯を移動します。
 また、日付単位で番組表を移動するには、[▶] ボタンで1日進み、[◀] ボタンで1日戻ります。
 「■」を押すことで、マルチ編成のチャンネルを折りたたんだり、拡げたりすることができます。

リモコンのボタンを確認する。[P.12]

マルチ編成の番組を視聴する

デジタル放送の番組によっては標準画質の放送を最大3番組を同時に放送する場合があります。その場合、マルチ編成の各チャンネルへ切り替えるには、現在視聴しているチャンネルに割り当てられているリモコンの【数字キー】ボタンを押すことで切り替えることができます。

リモコンのボタンを確認する。[P.12]

デジタル放送を録画予約する

本製品は、市販のUSB2.0規格のハードディスクを接続することで、高画質のデジタル放送の番組をそのままのクオリティで録画することができます。

新しいハードディスクを登録する

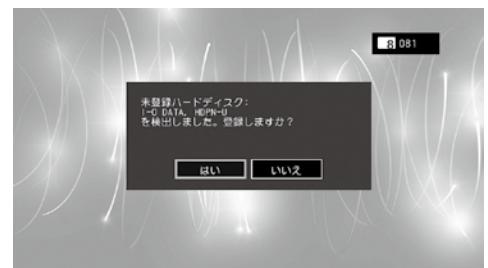
本書のP.22を参照して、USBハードディスクを正しく接続してください。本製品との接続が終わったら接続したハードディスクを本製品に登録します。登録が行なわれていないハードディスクを使用することはできません。また、はじめて登録されるハードディスクは、本製品が登録時に初期化を行います。ハードディスク内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

※一度、本製品で初期化されたハードディスクは、他の機器による初期化を行なわない限り、再度登録設定を行なっても初期化されることはありません。例えば、本製品でハードディスクを登録後、本製品の設定を初期化してもハードディスクを再度登録設定を行なえば、再び録画された番組を視聴したり、新たに録画することができます。

本製品にハードディスクを接続する。[P.22]

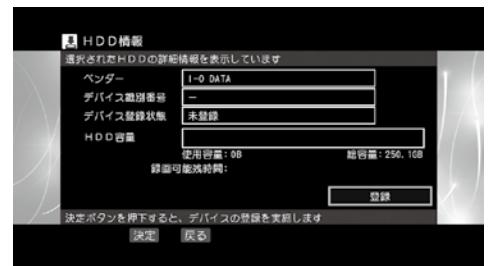
1

未登録の新しいハードディスクを接続すると、右記のメッセージが表示されます。「はい」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

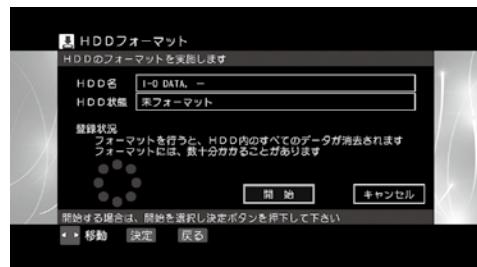
ハードディスクの情報が表示されますので、リモコンの【決定】ボタンを押して登録作業を開始します。



次のページに続きます。[P.50]

3

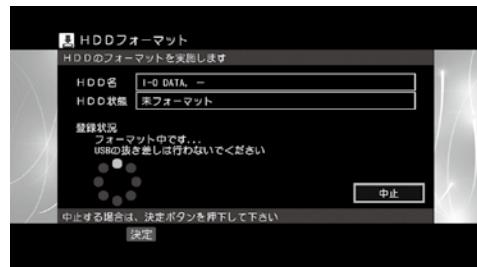
ハードディスクが未フォーマットだった場合にはフォーマット画面が表示されますので、「開始」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



△注意 ※フォーマットを行なうとハードディスク内のデータは全て消去されますのでご注意ください。

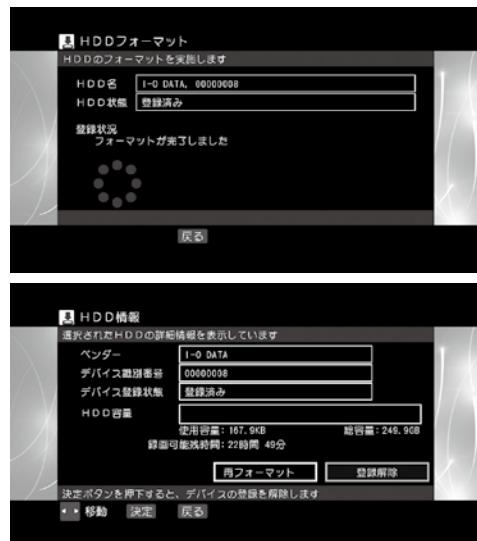
4

フォーマットを行います。作業が完了するまでしばらくお待ちください。また、機器が破損する原因となりますのでフォーマット作業中は電源を切ったり、USB機器を抜き差ししないでください。



5

フォーマットが完了すると自動でハードディスクの登録も完了します。リモコンの【戻る】ボタンを押すとハードディスクの登録情報が表示されます。

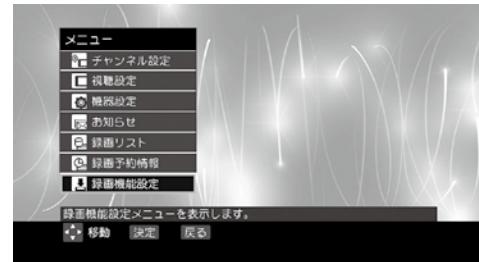


ハードディスク録画の設定をする

本製品で予約録画を行なったり、視聴中の番組を録画する場合の基本設定を行います。

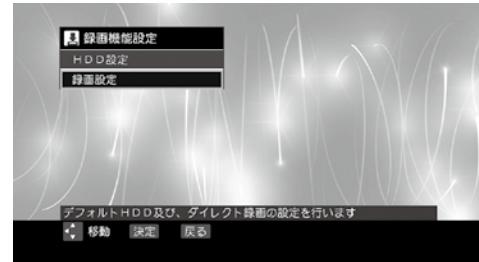
1

リモコンの【メニュー】ボタンを押し設定メニューを表示します。【録画機能設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



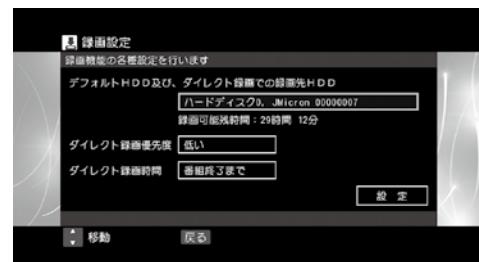
2

【録画機能設定】メニューから【録画設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



3

録画先のハードディスクを設定します。複数のハードディスクが接続・登録されている場合は「◀」「▶」ボタンで選択出来ます。ダイレクト録画設定は、視聴中の番組を録画する際の基本設定となります。



ダイレクト録画優先度: 「低い」、「ふつう」、「高い」から選択します。

録画予約が番組の延長などで重複した場合の録画優先度を設定します。

参考 録画予約の優先度を設定する。[P.56]

ダイレクト録画時間: 「番組終了まで」、「30分」、「1時間」、「1時間30分」、「2時間」、「3時間」、「4時間」から選択します。

視聴中に録画を開始した場合、設定した時間で録画を終了します。「番組終了まで」を選択した場合は、電子番組表から取得した番組終了時間まで録画を続けます。

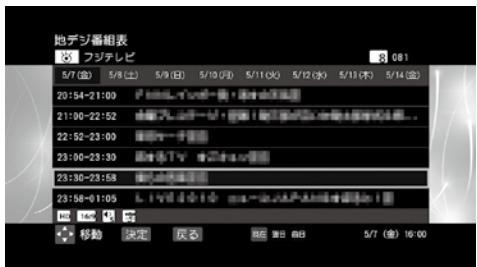
電子番組表（EPG）から番組を予約する

電子番組表から番組を選択して録画予約を設定するには、以下の手順で行います。

→参考 電子番組表（EPG）を使用する。[P.48]

1

リモコンの【番組表】ボタンを押して、電子番組表を表示します。番組を選択してリモコンの【決定】ボタンを押してください。



2

番組の詳細情報が表示されます。リモコンの【決定】ボタンを押してください。



3

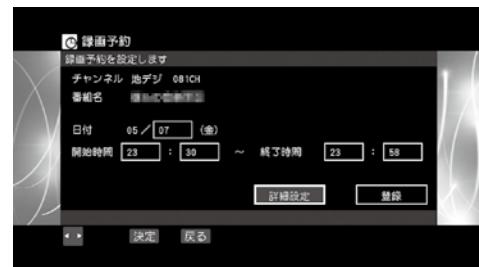
録画予約情報が表示されます。P.51で行なった基本設定のまま録画を行なう場合は、このまま【登録】を選択してリモコンの【決定】ボタンを押してください。



→参考 ハードディスク録画の設定をする。[P.51]

4

録画先のハードディスクを変更したり、録画条件を変更したい場合は【詳細設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



5

【予約詳細設定】の画面が表示されます。変更したい項目を設定してリモコンの【決定】ボタンを押します。



優先度：番組の延長などで録画予約が重複した場合の優先度を設定します。

→参考 録画予約の優先度を設定する。[P.56]

繰り返し：「毎日」、「毎週」、「月～木」、「月～金」、「月～土」から繰り返して録画する設定を選びます。

番組追従：スポーツ番組などの番組延長を自動で番組終了まで録画します。

保存先：録画保存先のハードディスクを選択します。複数のハードディスクが接続・登録されている場合は「◀」「▶」ボタンで選択できます。

設定が完了しましたら、【戻る】ボタンで④の画面に戻り【登録】を選択してリモコンの【決定】ボタンを押してください。

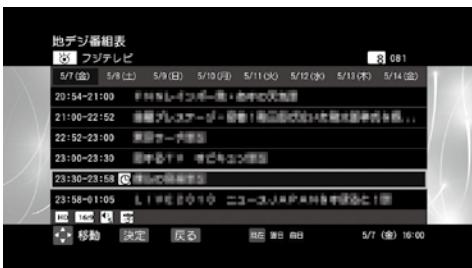
△注意 ※番組追従ありでの繰り返し予約の場合、番組名とある一定の割合で一致する番組を初回予約番組の前後3時間の時間範囲から検索し予約対象としています。その為、番組名の一致する割合が低い番組や、初回予約番組の前後3時間を超える番組の追従は出来ません。

※同じ日の内で番組の開始時間は異なるが、番組名が同じ番組を同時にくり返し予約した場合、各々のくり返し対象が重なる可能性があります。重複があった予約は、どちらか一方の繰り返しグループのみにしか属しません。

→次へ 次のページに続きます。[P.54]

6

予約設定が完了すると、電子番組表の予約した番組欄には④が表示されます。

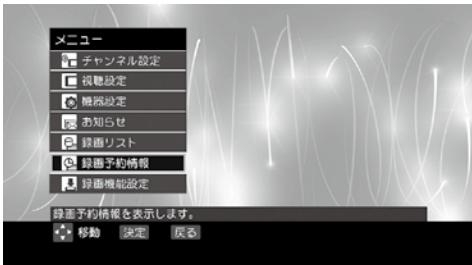


予約した番組を確認する

予約した番組の一覧を表示します。

1

リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【録画予約情報】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

録画予約されている番組の一覧が表示されます。(図①)
番組を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すと、選択した番組の詳細な予約情報が表示されます。(図②)



3

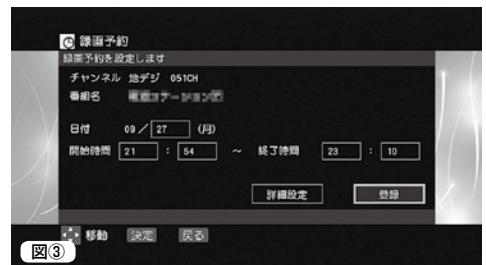
繰り返し予約を行った番組は、日時の部分が繰り返し設定のスケジュール表示となり、予約グループとして表示されます。(図①)



繰り返し予約のグループを選択して、リモコンの【決定】ボタンを押した場合は、グループ内の詳細な予約情報が表示されます。(図②)



グループ内の番組を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すと、番組の予約情報が表示されます。(図③)



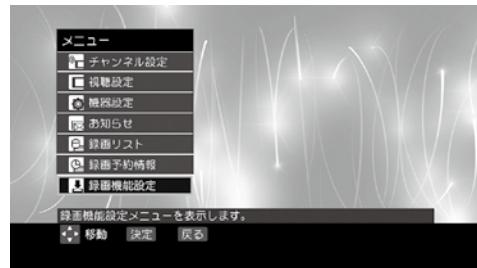
録画予約の優先度を設定する

録画予約をしたスポーツ番組などの放送時間が延長し、他の録画予約と重複してしまった場合の録画優先度を設定します。

△注意 ※ここではダイレクト録画時の基本設定として説明していますが、番組表録画を行なう際の優先度設定(P.53)も設定内容と設定した結果は同じです。

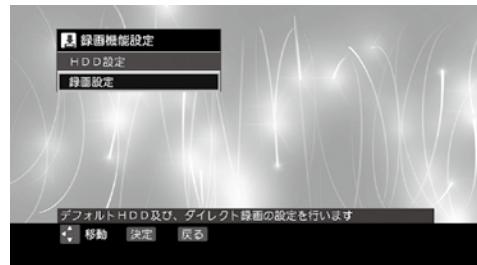
1

リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【録画機能設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



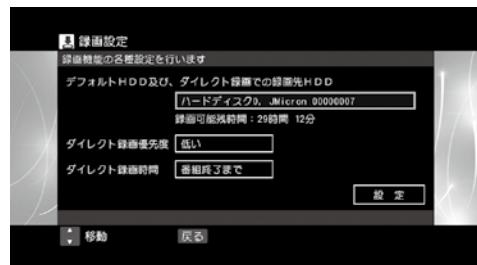
2

【録画機能設定】メニューから【録画設定】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



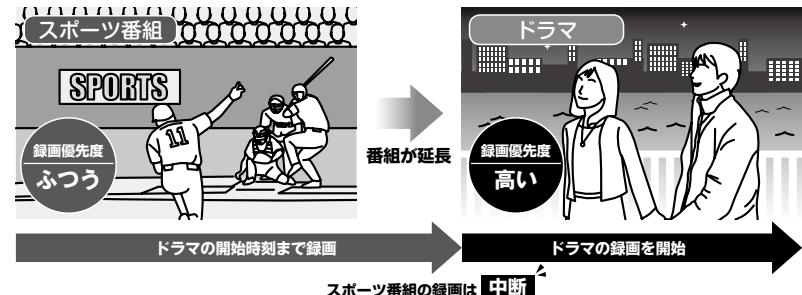
3

録画予約情報が表示されます。【ダイレクト録画優先度】を選択し、「低い」、「ふつう」、「高い」からダイレクト録画を行なったときの録画優先度を選択します。

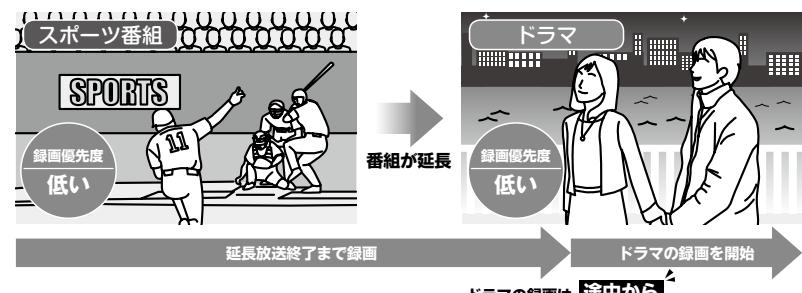


録画優先度の関係

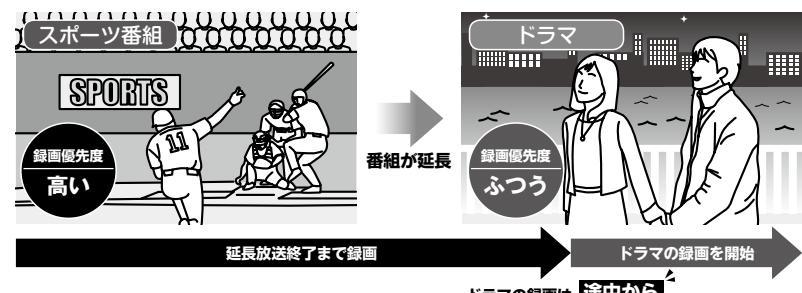
例：スポーツ番組の後に他チャンネルのドラマの予約が入っていて、スポーツ番組が延長した場合



スポーツ番組の優先度が「ふつう」、ドラマの優先度が「高い」に設定してあった場合、スポーツ番組は、ドラマ録画開始時刻で録画を中断し、ドラマの録画を開始します。



スポーツ番組、ドラマの優先度が両方とも同じ優先度に設定してあった場合、現在録画中の番組を優先して、放送終了時間まで録画します。スポーツ番組を延長放送終了まで録画し、スポーツ番組録画終了後にドラマの録画を開始します。



スポーツ番組の優先度が「高い」、ドラマの優先度が「ふつう」に設定してあった場合、スポーツ番組を延長放送終了まで録画し、スポーツ番組録画終了後にドラマの録画を開始します。

予約した番組を取り消す

録画予約の取り消しを行います。

1

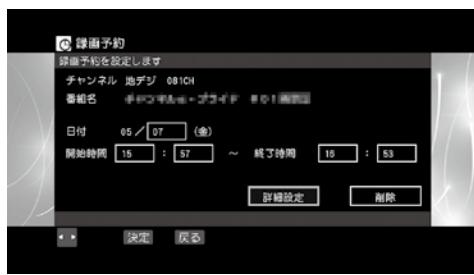
- リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。
【録画予約情報】を選択して、録画予約一覧を表示します。



参考 予約した番組を確認する。[P.54]

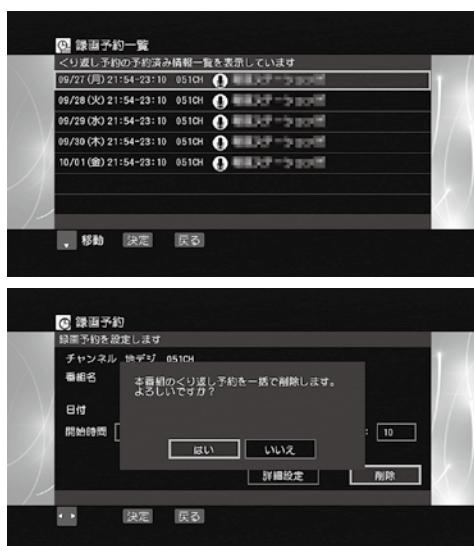
2

- 録画予約一覧から、予約を取り消したい番組を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押して、番組の予約情報を表示し、「削除」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押してください。



3

- 繰り返し予約のグループを取り消す場合は、グループ内の予約一覧からどれか一つを選択し、②と同じ手順で番組の予約情報を表示し、「削除」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押してください。
繰り返し予約を一括で削除するか確認ダイアログが表示されます。
繰り返し予約を取り消す場合は「はい」を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押してください。



現在視聴している番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴している番組を番組の終了まで、または決められた時間単位で録画します。

- リモコンの【●】（録画）ボタンを押してください。現在視聴中の番組の録画を開始します。この場合の録画設定は「録画機能設定」で設定した「ダイレクト録画優先度」と「ダイレクト録画時間」の設定が使用されます。また、電子番組表から現在放送中の番組を選択し、録画予約を行なうと、その時点から「ダイレクト録画時間」で設定された終了時間まで録画を実行します。
録画を停止する場合は、再度【●】（録画）ボタンを押すことで、録画を停止する確認メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと録画は停止されます。

予約録画、ダイレクト録画を停止する

予約録画・ダイレクト録画で録画中の番組を停止します。

- 録画を停止する場合は、リモコンの【●】（録画）ボタンを押すことで、録画を停止する確認メッセージが表示されます。「はい」を選ぶと録画は停止されます。

参考 リモコンのボタンを確認する。[P.12]

参考 電子番組表(EPG)を使用する。[P.48]

参考 ハードディスク録画の設定をする。[P.51]

録画した番組を再生する

ハードディスクに録画した番組を視聴します。

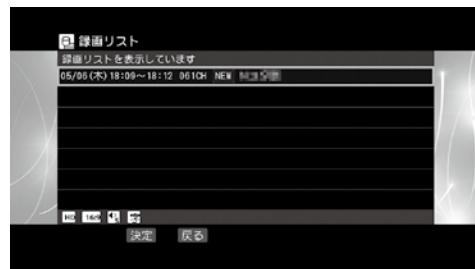
1

ハードディスクに録画した番組を視聴するには、リモコンの【録画リスト】ボタンを押すか、【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示し【録画リスト】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

録画された番組の一覧が表示されます。視聴したい番組を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押してください。
※録画用ハードディスクが複数接続されている場合は、最初にハードディスク選択画面が表示されます。まず、再生したい番組を録画したハードディスクを選択してください。



3

選択した番組の【コンテンツ詳細】が表示されます。「通常再生」「途中再生」のいずれかを選択して、リモコンの【決定】ボタンを押してください。
通常再生：録画番組を最初から再生します。
途中再生：録画番組を以前停止した位置から再生します。



	押すたびに4段階(2倍、4倍、8倍、20倍)の早送り再生をします。
	押すたびに4段階(2倍、4倍、8倍、20倍)の巻き戻し再生をします。
※早送り中、巻き戻し中は音声は出力されません。	
	約30秒後の位置から再生をします。
	約15秒前の位置から再生をします。

参考 リモコンのボタンを確認する。[P.12]

お知らせを表示する

本製品のエラー情報、ソフトウェアアップデート情報、110度CS放送局などからのお知らせを表示します。

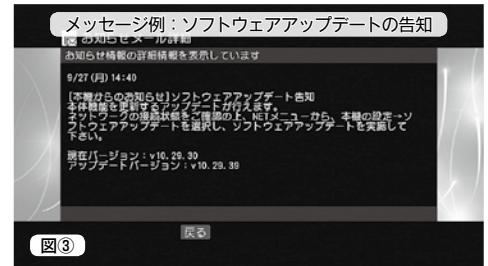
1

リモコンの【メニュー】ボタンを押して設定メニューを表示します。【お知らせ】を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押します。



2

【お知らせ】メニュー(図①)から【お知らせメール】(本製品からのエラーなどのお知らせ)【ボード(CS1)】【ボード(CS2)】(CS放送局からのお知らせなど)を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押してください。それぞれのメッセージの一覧が表示されます。(図②)メッセージを選択してリモコンの【決定】ボタンを押すとメッセージの詳細が表示されます。(図③)



お知らせメール内に未読のメールがある場合には、画面バナー上部の右端にメールアイコンが表示されます。

録画した番組・ハードディスクを管理する

本製品では、市販のUSB2.0規格のハードディスクを最大7台まで接続、6台まで登録^{*}して番組録画を行なうことが可能です。また、ハードディスクを繋ぎ替えて使用する事で台数無制限でハードディスクに録画・再生を行なうことができます。

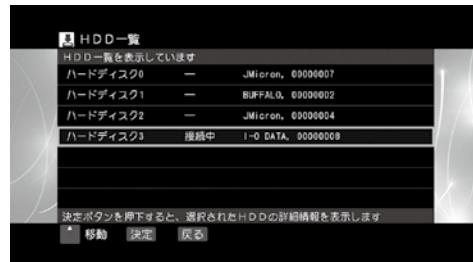
* 7台を同時に使用する事はできません。使用できる同時最大数は6台です。残りの1台は、後述のように登録を切り替えての使用となります。

△注意 ※本製品にて登録したハードディスクは、個別のハードウェアを識別する設定が施されます。一度登録したハードディスクは登録を行なった製品でのみ録画・再生が可能です。本製品を複数台使用する場合でもハードディスクの共用はできません。別な機種で登録を行なうにはハードディスクの初期化が必要となります。

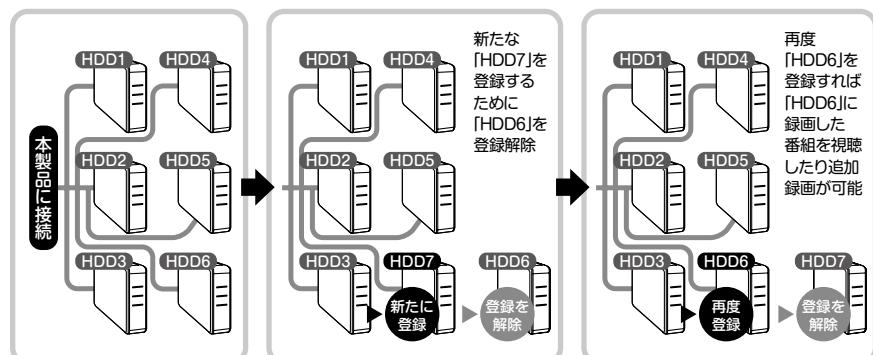
複数のハードディスクを使用する

本製品で録画・再生を行なうには必ずハードディスクの登録が必要です。

リモコンの【メニュー】ボタンを押して、【録画機能設定】から【HDD設定】を選択し、リモコンの【決定】ボタンを押すことで、登録されているハードディスクの一覧を表示することができます。



一度登録を行なったハードディスクは登録を解除しても初期化を行なわない限り内容が消去される事はありません。本製品のハードディスクの最大登録数は6台ですが、ハードディスクの登録を解除して、別なハードディスクを登録して使用する事で6台以上のハードディスクを使用して録画・再生を行なうことができます。

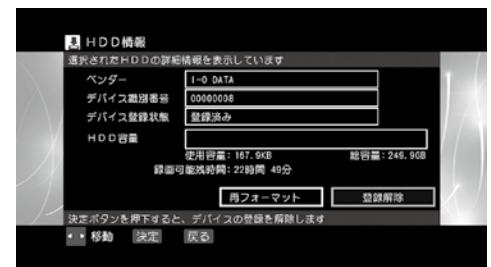


参考 新しいハードディスクを登録する [P.49]

ハードディスクの登録を解除する

登録されているハードディスクを解除して別なハードディスクを登録出来るようにします。

【HDD一覧】から登録を解除する
ハードディスクを選択し【決定】ボタンを押すと【HDD情報】が表示されるので、「登録解除」を選択し、【決定】ボタンを押してください。ハードディスクの登録が解除されます。



△注意 ※ハードディスクの登録を解除しても登録した機器以外で使用するにはハードディスクの初期化（再フォーマット）を行なう必要があります。

ハードディスクの容量と録画可能時間

録画用ハードディスクの容量と録画可能時間の一覧です。

HDD容量	HD放送(BS:最大24Mbps)	HD放送(地デジ:最大20Mbps)	SD放送(最大8Mbps)
320GB	約28時間	約34時間	約84時間
500GB	約44時間	約53時間	約131時間
1.0TB	約88時間	約106時間	約262時間
1.5TB	約132時間	約159時間	約393時間

※録画可能時間はあくまで一般的な目安です。ご使用環境によっては変動します。

ハードディスク録画の制限事項

本製品でのハードディスク録画・再生には以下の制限があります。

【録画可能なデジタル放送】

- 地上デジタル⇒全チャンネル
- BSデジタル（無料／公共放送（NHK BSデジタル））⇒※¹ BS1、BS2
- BSデジタル（無料／無料放送（民間放送））⇒※¹ BS3～BS15
- BSデジタル（有料／WOWOW）⇒加入契約が必要
- BSデジタル（有料／スターチャンネル）⇒加入契約が必要
- 110度CSデジタル（スカパー!e2）⇒加入契約が必要

※¹衛星放送契約が必要です。

※上記の放送でも番組毎にデジタルコピーが禁止されている番組は録画ができません。

【録画した番組の制限】

- 本製品は一般的なハードディスクレコーダーなどと異なり、ムーブ・コピーなどは行なえません。
- 本製品で録画した番組は、録画を行なった機器でのみ再生が可能です。

インターネットを楽しむ

本製品をインターネットに接続して、コンテンツの閲覧をする手順を説明しています。

本製品のインターネットご利用についての注意点

本製品はAndroidを採用しており、搭載されているブラウザ機能はWebkitをベースにしたスマートフォンなどの携帯電話から発しております。

そのため従来のパソコン製品とは若干操作方法が異なる場合がありますのでご留意ください。

△注意 [表示について]

- ・サイトによってはライト版、スマートフォン版などの小さなページが表示される場合があります。
- ・サイトの中にPC版への移行リンクがあればフルブラウザとしての表示が可能です。
- ・フラッシュ対応はしておりませんのでフラッシュを使用したサイトは閲覧できません。
- ・サイトのアクセスを示すプログレスバーは画面最上部にオレンジ色で表示されます。
- ・縦のスクロール時には、全体でどの位置を表示しているかが画面右端にバーで表示されます。

[操作について]

- ・一部を除きリモコンで全ての操作ができますが、キーボードとマウスの併用を推奨しております。
- ・ページをスクロールさせるにはパソコンの作法とは少々異なり、フリック（はじく、軽く打つ）操作によってスクロールする“フリックスクロール”を用いています。
- ・画面上のキー入力エリアを選択するには、マウスの左クリックでキー入力エリアを選択した後に、左カーソルキーを一度入力するとフォーカスが当たり、入力可能となります。
- ・次の入力エリアへの移動は、TABキーではなく、下カーソルキーで移動します。（次の入力エリアが右の場合は右カーソルキーとなります）

[下記はリモコンとキーボードの操作を説明します]

定義	リモコン	キーボード	機能
メニュー	メニュー	F1	ブラウザメニューを表示するにはメニューボタン(F1キー)を押してください。
拡大 / 縮小	拡大 / 縮小	F2	テレビ画面から“テレビとブラウザのサブスクリーン画面”への表示の切替には拡大 / 縮小ボタン (F2キー) を押してください。
ブラウザ移動	ブラウザ移動	F3	テレビとブラウザのサブスクリーン画面の表示中に、ブラウザ移動ボタン(F3キー)を押すことでメインスクリーン、サブスクリーンのフォーカスを移動します。
TV/ ブラウザ	TV/ ブラウザ	F4	テレビ画面からブラウザ画面への表示の切替にはTV/ ブラウザボタン (F4キー) を押してください。
再読み込み	なし	F5	ブラウザ画面の表示中に、F5キーを押すことでWEBページを再読み込みします。 リモコンの場合には、ブラウザメニューの「その他」にある「再読み込み」を押します。

[ダウンロードについて]

- ・PDFなどのファイルのダウンロードには対応しておりません。

ブラウザの使い方

テレビとブラウザを切り替える

テレビ画面から、リモコンの[TV/ブラウザ]ボタンを押すと、画面表示がブラウザ画面に切り替えます。

再度、リモコンの[TV/ブラウザ]ボタンを押すことで、テレビ画面に戻ります。

また、テレビ画面から、リモコンの[拡大/縮小]ボタンで、テレビとブラウザのサブスクリーン画面が表示されます。



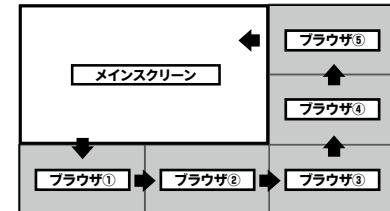
本製品のブラウザ機能を使用するときの表示は左図のように、画面左上の大きなスクリーンを「メインスクリーン」、周りに表示される小さなスクリーンを「サブスクリーン」と呼びます。

ブラウザ画面の選択

テレビとブラウザのサブスクリーン画面を表示中に、リモコンの[ブラウザ移動]ボタンを押すことで、メインスクリーン、サブスクリーンのフォーカスを移動します。

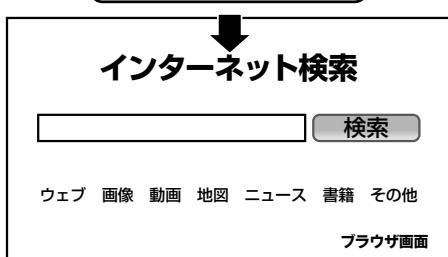
フォーカスの移動順序は、[ブラウザ移動]ボタンを押すごとに、メインスクリーンからブラウザ①～⑤の順に移動し、メインスクリーンに戻ります。

サブスクリーン画面を選択した状態で、リモコンの[決定]ボタンを押すと、選択したブラウザ画面が全画面で表示されます。

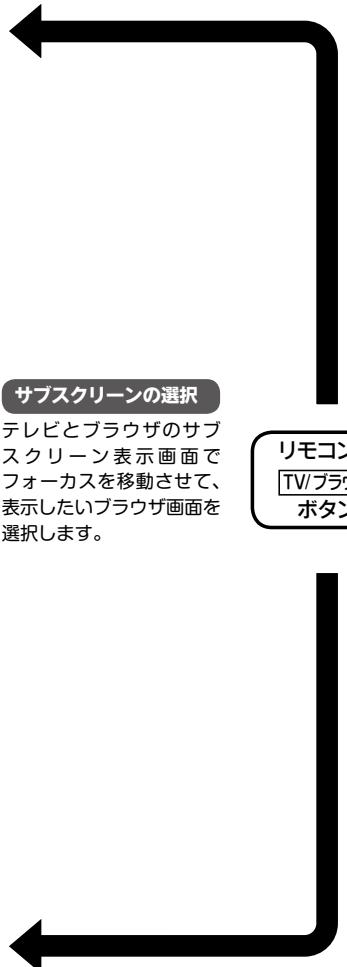


次へ 次のページに続きます。[P.66]

テレビ / ブラウザ画面の推移

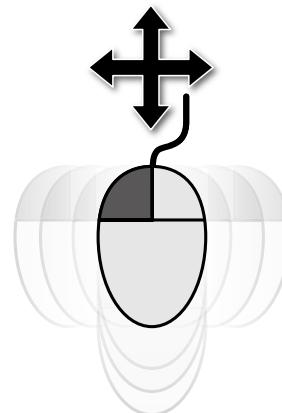


△注意 • [TV/ ブラウザ] ボタンで呼び出されるブラウザ画面表示の初期設定は、「**ブラウザ①**」に表示される画面となります。



ページのスクロール

ブラウザ画面でのページのスクロールは、フリック（はじく、軽く打つ）操作によってスクロールする“フリックスクロール”で行ないます。マウスの左ボタンを押したままスクロールしたい方向へ動かすと、ページがスクロールし、次第にゆっくりと止まります。



インターネット検索



メインスクリーンでのスクロール操作

サブスクリーンでのブラウザ画面のアクセス

サブスクリーンでのブラウザ画面では、ページ内のリンクにアクセスすることができます。



メニューバーの使い方

ブラウザがフルスクリーン表示中に F1 キー（メニュー）を押すと表示されるメニューバーの使い方を説明します。

URL 入力ボタン

URL を直接入力してインターネットのホームページを表示します。

ホームページ登録にはキーボードを使用します。

テレビ画面からキーボードの F2 キー（拡大/縮小）を押下すると、テレビとブラウザのサブスクリーン画面が表示されます。

テレビとブラウザのサブスクリーン画面から、キーボードの F3 キー（ブラウザ移動）を押して、表示するブラウザ画面を選択します。（図①）



図①

F2 キー（拡大/縮小）を押下して、ブラウザをフルスクリーン表示します。（図②）



図②

ブラウザをフルスクリーン表示中に、F1 キー（メニュー）を押下すると画面下部にメニューバーが表示されます。

[URL 入力] を選択して Enter キー（決定）を押下すると、画面上部に URL 入力欄が表示されます。

URL 入力欄に登録したいサイトのアドレスを入力します。

（図②、図③）

アドレスを入力して Enter キー（決定）を押下すると、入力したアドレスのサイトが表示されます。



図③

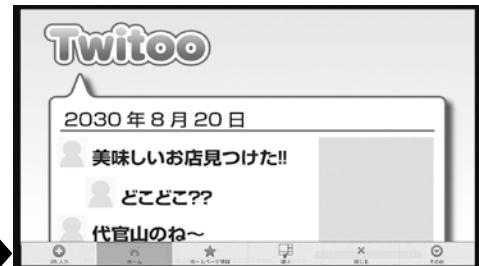
ホームボタン

ブラウザをフルスクリーン表示中に、F1 キー（メニュー）を押下すると画面下部にメニューバーが表示されます。

「ホーム」を選択して Enter キー（決定）を押下すると登録されているホームページを表示します。（図①）



図①



ホームページ登録ボタン

テレビ / ブラウザ画面表示のとき、サブスクリーンに表示されるホームページを登録します。

テレビ画面からキーボードの F2 キー（**拡大/縮小**）を押下すると、テレビとブラウザのサブスクリーン画面が表示されます。

テレビとブラウザのサブスクリーン画面から、キーボードの F3 キー（**ブラウザ移動**）を押下して、表示するブラウザ画面を選択します。

(図①)



図①

F2 キー（**拡大/縮小**）を押下して、ブラウザをフルスクリーン表示します。(図②)



図②

ブラウザをフルスクリーン表示中に、F1 キー（**メニュー**）を押下すると画面下部にメニューバーが表示されます。

「URL 入力」を選択して Enter キー（**決定**）を押下すると、画面上部に URL 入力欄が表示されます。URL 入力欄に登録したいサイトのアドレスを入力します。

(図②、図③)

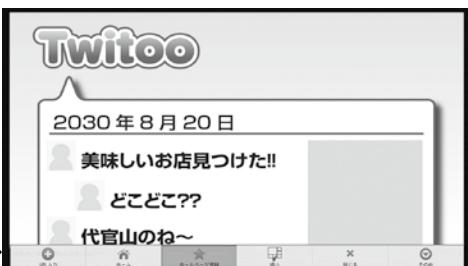


図③

入力したアドレスのサイトが表示されたら、F1 キー（**メニュー**）を押下して画面下部にメニューバーを表示します。「ホームページ登録」を選択して Enter キー（**決定**）を押下します。(図④)



図④



【ホームページ登録】画面が表示され、ホームページを保存したいサブスクリーン位置を選択して Enter キー（**決定**）を押下します。(図⑤)

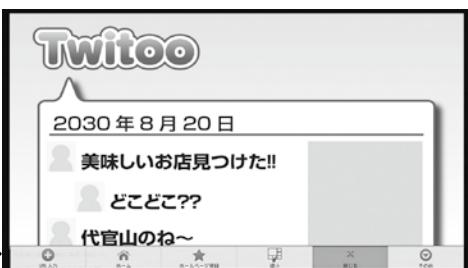


図⑤

F1 キー（**メニュー**）を押してメニューバーを表示し、「閉じる」を選択して Enter キー（**決定**）を押下するとフルスクリーン表示中のブラウザ画面は終了し、図⑤で指定したサブスクリーン位置に、設定したホームページが表示されます。(図⑥、図⑦)



図⑥



上記操作を繰り返すことで、5 つのサブスクリーンの設定が行なえます。



図⑦

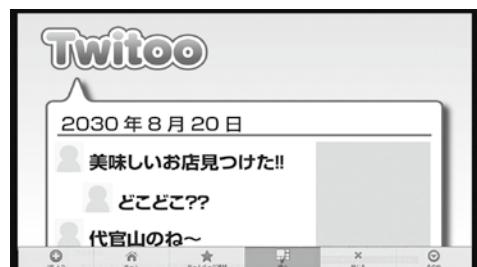
縮小ボタン

F3キー（[ブラウザ移動]）を押下してブラウザ画面を選択しEnterキー（[決定]）を押下するとブラウザをフルスクリーンで表示します。（図①）

ブラウザをフルスクリーン表示中に、F1キー（[メニュー]）を押下すると画面下部にメニューバーが表示されます。（図②）



図①



図②



「縮小」を選択してEnterキー（[メニュー]）を押下すると図①で選択したサブスクリーンに対して、フルスクリーン表示中のブラウザ画面が縮小して表示されます。（図③、図④）



図③



図④

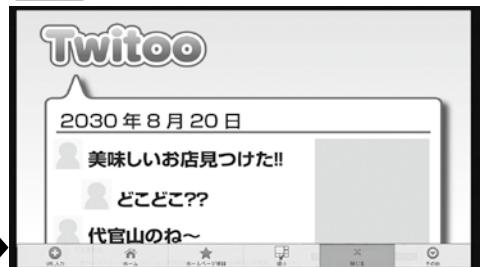
閉じるボタン

F3キー（[ブラウザ移動]）を押してブラウザ画面を選択し、Enterキー（[決定]）を押下するとブラウザをフルスクリーンで表示します。（図①）

ブラウザをフルスクリーン表示中に、F1キー（[メニュー]）を押下すると画面下部にメニューバーが表示されます。（図②）



図①



図②

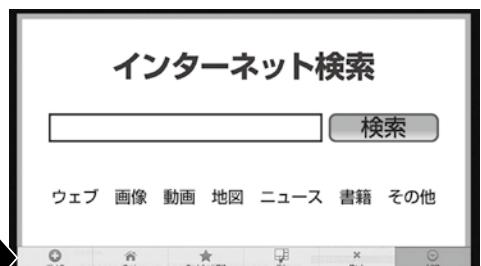
「閉じる」を選択してEnterキー（[決定]）を押下すると、フルスクリーン表示中のブラウザ画面は閉じられ、図①で選択したサブスクリーンには登録されていたホームページが表示されます。（図②、図③）



図③

その他ボタン

ブラウザをフルスクリーン表示中に、F1キー（[メニュー]）を押下すると画面下部にメニューバーが表示されます。（図①）



図①

次へ 次のページに続きます。[P.74]

「その他」を選択して Enter キー（**[決定]**）を押下すると、[その他] のメニュー（再読み込み、戻る、進む）が表示されます。（図②）

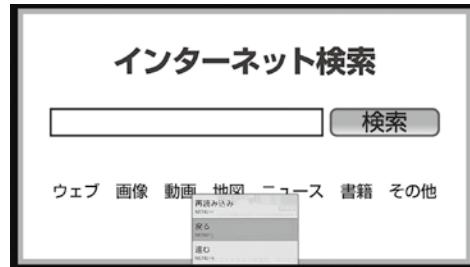
「戻る」を選択して Enter キー（**[決定]**）を押下すると、表示中のブラウザ画面で一つ前に表示していたページに戻ります。（図③）



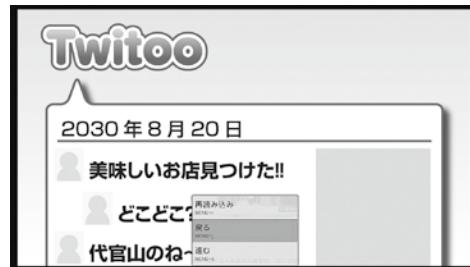
「再読み込み」を選択して Enter キー（**[決定]**）を押下すると、表示中のブラウザ画面を再度読み込み表示します。（図④）



「進む」を選択して Enter キー（**[決定]**）を押下すると、表示中のブラウザ画面より後に表示したページへ遷移します。（図⑤）



図②



図③



図④



図⑤

ソフトウェアキーボードの使い方

本製品は、リモコンやマウスのみでの環境でインターネットを楽しむ際に、画面上で文字入力を行なうためのソフトウェアキーボード機能を搭載しています。

ソフトウェアキーボードを表示する

ソフトウェアキーボードはマウスによるクリックで操作します。

ブラウザ画面の入力欄をマウスでクリックすると、画面下部にソフトウェアキーボードが表示されます。（図①）

入力方法には、ひらがな、半角英字、半角数字入力があります。



図①

ソフトウェアキーの説明

ソフトウェアキーボードに表示されているマークとその機能について説明します。

英数字モード

about	all	and	are	a.m.	also	any	after	asp	access	action	add	another	area	art	article	available	above	account	address	↑
① 変換候補（放送切替）	② ●	③ 記号（録画）	④ 文字（番組表）	⑤ A=a	⑥ -	⑦ ☎ (番号入力)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (決定)	⑪ 記号（録画）	⑫ 大+小	⑬ わ	⑭ ．	⑮ ～	⑯ ～	⑰ ～	⑱ ～	⑲ ～	⑳ ～	
② ☰ (番組情報)	③ ☰ (番組情報)	④ ☰ (番組情報)	⑤ ☰ (番組情報)	⑥ ☰ (番組情報)	⑦ ☰ (番組情報)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (番組情報)	⑪ ☰ (番組情報)	⑫ ☰ (番組情報)	⑬ ☰ (番組情報)	⑭ ☰ (番組情報)	⑮ ☰ (番組情報)	⑯ ☰ (番組情報)	⑰ ☰ (番組情報)	⑱ ☰ (番組情報)	⑲ ☰ (番組情報)	⑳ ☰ (番組情報)		
③ ☰ (番組情報)	④ ☰ (番組情報)	⑤ ☰ (番組情報)	⑥ ☰ (番組情報)	⑦ ☰ (番組情報)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (番組情報)	⑪ ☰ (番組情報)	⑫ ☰ (番組情報)	⑬ ☰ (番組情報)	⑭ ☰ (番組情報)	⑮ ☰ (番組情報)	⑯ ☰ (番組情報)	⑰ ☰ (番組情報)	⑱ ☰ (番組情報)	⑲ ☰ (番組情報)	⑳ ☰ (番組情報)	⑴ ☰ (番組情報)		
④ ☰ (番組情報)	⑤ ☰ (番組情報)	⑥ ☰ (番組情報)	⑦ ☰ (番組情報)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (番組情報)	⑪ ☰ (番組情報)	⑫ ☰ (番組情報)	⑬ ☰ (番組情報)	⑭ ☰ (番組情報)	⑮ ☰ (番組情報)	⑯ ☰ (番組情報)	⑰ ☰ (番組情報)	⑱ ☰ (番組情報)	⑲ ☰ (番組情報)	⑳ ☰ (番組情報)	⑴ ☰ (番組情報)	⑵ ☰ (番組情報)		

日本語モード

気	技術	今日	昨日	業界	銀行	業務	逆	業者	議員	疑問	君	気持ち	期	きっと	議論	期待	去年	銀	機能	興味	気分	休日	ギター	会
① 変換候補（放送切替）	② ☰	③ ☰	④ ☰	⑤ ☰	⑥ ☰	⑦ ☰	⑧ ☰	⑨ ☰	⑩ ☰	⑪ ☰	⑫ ☰	⑬ ☰	⑭ ☰	⑮ ☰	⑯ ☰	⑰ ☰	⑱ ☰	⑲ ☰	⑳ ☰	⑴ ☰ (番号入力)	⑵ ☰ (番組情報)	⑶ ☰ (決定)	⑷ ☰	
② ☰ (番組情報)	③ ☰ (番組情報)	④ ☰ (番組情報)	⑤ ☰ (番組情報)	⑥ ☰ (番組情報)	⑦ ☰ (番組情報)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (番組情報)	⑪ ☰ (番組情報)	⑫ ☰ (番組情報)	⑬ ☰ (番組情報)	⑭ ☰ (番組情報)	⑮ ☰ (番組情報)	⑯ ☰ (番組情報)	⑰ ☰ (番組情報)	⑱ ☰ (番組情報)	⑲ ☰ (番組情報)	⑳ ☰ (番組情報)	⑴ ☰ (番組情報)	⑵ ☰ (番組情報)	⑶ ☰ (番組情報)	⑷ ☰ (番組情報)	⑸ ☰	
③ ☰ (番組情報)	④ ☰ (番組情報)	⑤ ☰ (番組情報)	⑥ ☰ (番組情報)	⑦ ☰ (番組情報)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (番組情報)	⑪ ☰ (番組情報)	⑫ ☰ (番組情報)	⑬ ☰ (番組情報)	⑭ ☰ (番組情報)	⑮ ☰ (番組情報)	⑯ ☰ (番組情報)	⑰ ☰ (番組情報)	⑱ ☰ (番組情報)	⑲ ☰ (番組情報)	⑳ ☰ (番組情報)	⑴ ☰ (番組情報)	⑵ ☰ (番組情報)	⑶ ☰ (番組情報)	⑷ ☰ (番組情報)	⑸ ☰ (番組情報)	⑹ ☰	
④ ☰ (番組情報)	⑤ ☰ (番組情報)	⑥ ☰ (番組情報)	⑦ ☰ (番組情報)	⑧ ☰ (番組情報)	⑨ ☰ (番組情報)	⑩ ☰ (番組情報)	⑪ ☰ (番組情報)	⑫ ☰ (番組情報)	⑬ ☰ (番組情報)	⑭ ☰ (番組情報)	⑮ ☰ (番組情報)	⑯ ☰ (番組情報)	⑰ ☰ (番組情報)	⑱ ☰ (番組情報)	⑲ ☰ (番組情報)	⑳ ☰ (番組情報)	⑴ ☰ (番組情報)	⑵ ☰ (番組情報)	⑶ ☰ (番組情報)	⑷ ☰ (番組情報)	⑸ ☰ (番組情報)	⑹ ☰ (番組情報)	⑺ ☰	

→ 次へ 次のページに続きます。[P.76]

ソフトウェアキーボードのキーと機能

マーク	リモコンキーの割当	機能説明
①	変換候補(放送切替)	放送切替 キーに割り当てられている1つ前の文字を表示します。
②	方向キー(左)	入力欄のカーソルを左に移動します。
③	記号(録画)	ソフトウェアキーボードの上部に表示される変換候補に、記号 / 顔文字リストを表示します。
④	文字(番組表)	番組表 入力モードを切り替えます。(ひらがな→半角英字→半角数字→ひらがな・・・)長押しするとパネルが表示され、入力モードの切替とPC風キーボードへの切替ができます。
⑤	A↔a	数字キーの10 大文字、小文字への変換を行います。
⑥	,	数字キーの12 「、」(読点)と「。」(句点)を表示します。
⑦	☒(DEL)(番組入力)	番組入力 入力した文字を1文字ずつ消します。
⑧	➡	方向キー(右) 入力欄のカーソルを右に移動します。
⑨	〔 〕(番組情報)	番組情報 スペースを入力します。
⑩	◀(決定)	決定 改行入力、または入力中の読みを確定します。
⑪	英数カナ	録画 (日本語モード時) 英数カナ変換を行います。
⑫	大↔小	数字キーの10 (日本語モード時) 入力中の文字、もしくはカーソルの前の文字に対し「、」(濁点)、「」(半濁点)の入力および大文字、小文字への変換を行ないます。

ソフトウェアキーボードの入力

マウスを使用して、入力したい語句の行をクリックします。(図①-1)
か行であれば、クリックするごとに、「か、き、く、け、こ」と順に入力候補が切り替わります。(図①-2、図②-1)

ソフトウェアキーボードの上部に、変換候補の単語が表示されます。(図②-2)

例えば、変換候補の中から「銀行」という単語を選択して、クリックすると、入力欄に「銀行」という単語が入力されます。(図②-2、図③)

※変換語句を日本語に変換するには、キーボードのスペースキーを押します。

【リモコンの場合】

リモコンの方向キーで入力欄を選択し、[決定]ボタンを押下すると入力欄にカーソルが入ります。

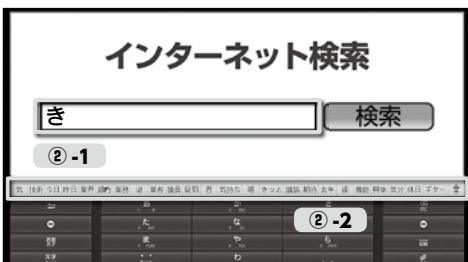
か行であれば、数字キーの2をクリックするごとに、「か、き、く、け、こ」を順に入力候補が切り替わります。(図①-2、図②-1)

ソフトウェアキーボードの上部に、変換候補の単語が表示されます。(図②-2)

[放送切替]ボタンを押下するとさらに多くの変換候補が表示され、例えば変換候補の中から「銀行」という単語を選択して、[決定]ボタンを押下すると、入力欄に「銀行」という単語が入力されます。(図②-2、図③)



図①



図②



図③

■入力の参考例

【「東京」と入力する場合】

1. 「た」を5回クリックし、「と」を入力します。
2. 「あ」を3回クリックし、「う」を入力します。
3. 「か」を2回クリックし、「き」を入力します。
4. ソフトウェアキーボードの上部に表示される変換候補の単語の中から「東京」を選択してクリックします。

付録

トラブル時の対処方法や、用語集、チャンネル一覧などを記載しています。

エラーコード一覧

本製品で異常が起こった場合表示されるエラーコードの一覧です。

エラー種別	コード	メッセージ	原因	対処方法
全般のエラー	E200	放送チャンネルではないため、視聴できません。	非放送番組を選局した場合	通常の放送チャンネルを選局してください。
	E202	信号が受信できません。	アンテナの接続に不具合がある、またはチャンネルの設定が合っていない場合	アンテナの接続、およびチャンネルの設定が合っているか確認してください。
	E203	現在放送されていません。	現在放送されていない、または放送休止中の場合	番組ガイドなどで放送時間を確認してください。
	E209	アンテナとの接続を確認してください。	アンテナ線の芯線がショートしている場合	アンテナ線を確認してください。
	E210	この受信機ではこのチャンネルは受信できません。	受信機に対応していないチャンネルを選局した場合	このチャンネルはご覧いただけません。
	A102 A104 A105 A106 A107 A1FF	この IC カードは使用できません。	B-CAS カードが登録されていない場合	この IC カードは使用できません。カスタマーセンターへご連絡ください。
	EC01	この IC カードは使用できません。正しい IC カードを装着してください。	無効な IC カードが装着されている場合	この IC カードは使用できません。正しい IC カードを装着してください。
	EC02	この IC カードではご覧になることができません。	カード ID が不正の B-CAS カードが挿入されている場合	この IC カードではご覧いただけません。カスタマーセンターへご連絡ください。

エラー種別	コード	メッセージ	原因	対処方法
全般のエラー	6400	IC カードの交換が必要です。	B-CAS カードが故障している、または交換が必要な場合	IC カードの交換が必要です。カスタマーセンターへご連絡ください。
	—	IC カードを正しく装着してください。	B-CAS カードが挿入されていない場合	IC カードを正しく装着してください。
	A103	このチャンネルは契約されていません。	未契約の有料放送を選択した場合	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
	8901	このチャンネルはご覧いただけません。	未契約の有料放送を選択した場合	このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
	8902 8502 8302	契約期限が切れています。	契約期限が過ぎている有料放送の場合	契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
	8903 8503 8303	このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。	視聴が制限されているチャンネルの場合	視聴条件によりご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
視聴関連	—	このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	リモコンのボタンにチャンネルが存在しない場合	このチャンネル(ボタン)は、存在しません。
	—	番組詳細情報を表示できません。	録画コンテンツの再生中に番組詳細を表示しようとした場合	録画コンテンツの再生中は、番組詳細は表示できません。
	—	切り替えられる音声がありません。	マルチ音声ではない番組の場合	この番組は音声を切り替えることができません。

エラー種別	コード	メッセージ	原因	対処方法
録画・再生	—	録画中のため表示できません。	録画中に表示できない画面を選択した場合	この画面は表示できません。 表示する場合は、録画を停止してから切り替えてください。
	—	出力先HDDが満杯のため録画ができません。	録画の出力先に設定されているHDDの容量が満杯の場合	HDDにある録画済みコンテンツを消してから録画してください。 または、別のHDDを接続して出力先を変更してから録画してください。
	—	録画先のHDDが設定されていません。	録画の出力先が設定されていない時に録画をしようとした場合	"録画先設定"にて出力先のHDDを設定してください。
	—	エラーが発生したため録画が開始出来ませんでした。	何かしらの要因により、録画が出来なかつた場合	サポートセンターへお問い合わせください。
	—	時間が重複した予約があります。録画優先度を確認してください。	即時録画にて録画を開始した際に、時間の重なる登録済みの予約録画がある場合	即時録画の録画時間と重複する録画予約情報が存在します。重複している時刻に達した場合、優先度に準じて録画が実施または中断されますので、"録画予約情報"から各々の優先度をご確認ください。

困ったときは

本製品のご使用上で良くあるトラブルの事例と対処方法を記載しています。

症 状	原 因	対 策
電源が入らない	電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている。	電源ケーブルをコンセントおよび本製品に接続してください。
映像や音声が出ない	テレビの接続が間違っている。	接続コードの接続を確認して正しく接続してください。
	入力を正しく選択していない。	テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。
	本製品やテレビのミュート（消音）が有効になっている。	リモコンの【消音】ボタンを押して消音機能を無効にしてください。 テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。
リモコンで操作できない	電池が入っていない。	電池をリモコンにセットしてください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池の極性（+、-）を確認して、正しく入れてください。
	リモコンをテレビに向いている。	リモコンは本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。
	リモコンと本製品の間に障害物がある。	障害物をなくすか、避けてお使いください。
	リモコンと本製品の間隔が遠い。	リモコンを本製品に近づけて操作してください。
テレビで見たとき端（外周部）の映像がカットされている、もしくは映像がずれて見える	一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。 テレビによってカットする量に差があり、テレビによっては映像の端（外周部）がカットされて見えたり、左右または上下にずれて見えることがあります。	
BS放送・110度CS放送が視聴出来ない	BS・110度CSアンテナが接続されていない。	BS・110度CS放送を受信するには専用アンテナが必要となります。また、マンションなどの地上波デジタル/BS・110度CS混合アンテナの場合は別途「BS/U・V分波器」が必要となります。
	加入契約を行なっていない。	BS放送の一部（WOWOWなど）と110度CS放送の視聴には加入契約が必要となります。また、BS放送の受信には別途「衛星放送契約」が必要となります。
録画が出来ない	HDDの空き容量が無くなった。	空き容量のある新しいハードディスクを接続するか、録画されている番組を削除してハードディスクの空き容量を増やしてください。
	番組がデジタル録画禁止になっている。	番組によってはデジタル録画が禁止されているものがあります。その場合は番組の録画はできません。

本製品のファームウェアをアップデートする

本製品は USB メモリーと PC を使用するか、本製品でインターネットに接続して^{*}、最新のファームウェアにアップデートしていただく事ができます。

- △注意** ※ファームウェアをアップデートするときは、TV/ モニターを除く録画用のハードディスクなどの外部機器をすべて外した状態で行なってください。
- ※ファームウェアをアップデートすると、それまでに行なった設定データや予約データが初期化される場合があります。ハードディスクに録画した番組については、ハードディスクを再登録することでご覧頂くことができます。

1 はじめに、最新のファームウェアをインターネットからダウンロードしていただくために、インターネットに接続している PC と USB メモリーをご用意ください。

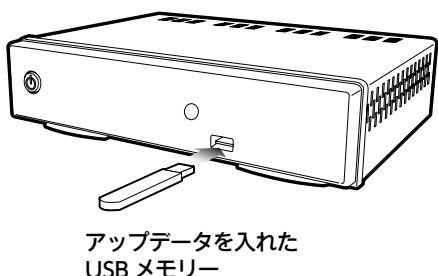
- △注意** ※アップデートに使用する USB メモリーは 512MB 以上の容量のものをご用意ください。

2 下記のサイトに接続してファームウェアをダウンロードしてください。
<http://www.covia.net>

サイトに接続後、「ダウンロード」タブをクリックし本製品を選択して、最新のファームウェアをダウンロードしてください。

ダウンロードしたアップデータを用意した USB メモリーに保存します。

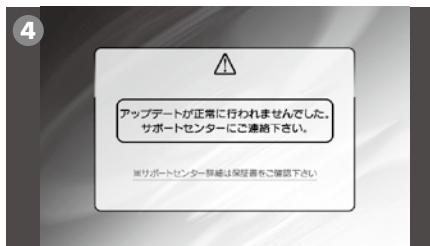
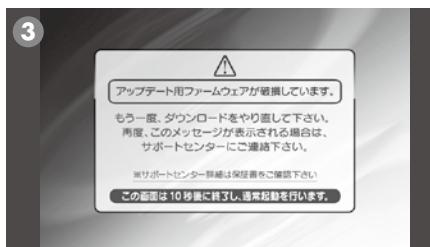
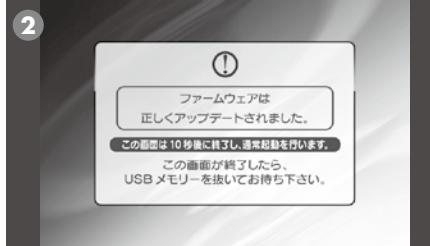
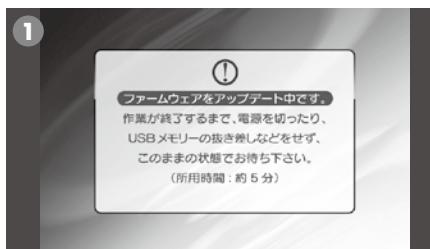
3 本製品の電源を一度 OFF にします。
 前面の USB コネクタにファームウェアを保存した USB メモリーを接続し、再度、本製品の電源を入れてください。



参考 本製品の各部の名前と機能 [P.10]

4

本製品の電源を入れると、自動でアップデートが開始されます。正常にアップデートが行なわれた場合は①～②の画面が表示されます。②の画面が表示されたら、USB メモリーを抜いて、電源ケーブルの抜き差しをしてください。電源が入った後、本製品が起動することを確認してください。



地上デジタル放送チャンネル一覧

地上波デジタル放送のチャンネル一覧です。受信レベルやチャンネルスキャンの結果を確認する際の参考にお使いください。

地域	チャンネル	放送局名
北海道 (北見)	1	HBC 北見
	2	NHK 教育・北見
	3	NHK 総合・北見
	5	STV 北見
	6	HTB 北見
	7	TVH 北見
	8	UHB 北見
	1	HBC 旭川
北海道 (旭川)	2	NHK 教育・旭川
	3	NHK 総合・旭川
	5	STV 旭川
	6	HTB 旭川
	7	TVH 旭川
	8	UHB 旭川
北海道 (釧路)	1	HBC 釧路
	2	NHK 教育・釧路
	3	NHK 総合・釧路
	5	STV 釧路
	6	HTB 釧路
	7	TVH 釧路
北海道 (帯広)	1	HBC 帯広
	2	NHK 教育・帯広
	3	NHK 総合・帯広
	5	STV 帯広
	6	HTB 帯広
	7	TVH 带広
北海道 (札幌)	1	HBC 札幌
	2	NHK 教育・札幌
	3	NHK 総合・札幌
	5	STV 札幌
	6	HTB 札幌
	7	TVH 札幌
北海道 (室蘭)	1	HBC 室蘭
	2	NHK 教育・室蘭
	3	NHK 総合・室蘭
	5	STV 室蘭
	6	HTB 室蘭
	7	TVH 室蘭
	8	UHB 室蘭

地域	チャンネル	放送局名
北海道 (函館)	1	HBC 函館
	2	NHK 教育・函館
	3	NHK 総合・函館
	5	STV 函館
	6	HTB 函館
	7	TVH 函館
	8	UHB 函館
	1	RAB 青森放送
青森	2	NHK 教育・青森
	3	NHK 総合・青森
	5	青森朝日放送
	6	ATV 青森テレビ
	7	TVH 青森
	8	UHB 青森
岩手	1	NHK 総合・水戸
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	ATV 青森テレビ
	7	TVH 岩手
茨城	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	TVH 茨城
栃木	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	TVH 栃木
群馬	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	TVH 群馬
埼玉	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	TBS
	7	TVH 埼玉
千葉	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・東京
	3	チバテレビ
	4	日本テレビ
	5	テレビ朝日
	6	HTB 函館
東京	7	TVH 東京
	8	UHB 東京
	9	FNS
	10	MBS
	11	TBS
	12	ABC

地域	チャンネル	放送局名
石川	1	NHK 総合・金沢
	2	NHK 教育・金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MBS 北陸テレビ
	7	石川テレビ
	8	フジテレビ
	9	TOKYO MX
静岡	10	よみうりテレビ
	11	NHK 総合・静岡
	12	NHK 教育・静岡
	13	静岡第一テレビ
	14	あさひテレビ
	15	SBS 静岡放送
愛知	16	テレビ静岡
	17	東海テレビ
	18	NHK 教育・名古屋
	19	NHK 総合・名古屋
	20	中京テレビ
	21	CBC
岐阜	22	メ~テレ
	23	テレビ愛知
	24	東海テレビ
	25	NHK 教育・名古屋
	26	YBS 山梨放送
	27	UTY
新潟	28	NHK 総合・新潟
	29	NHK 教育・新潟
	30	TENY テレビ新潟
	31	UX 新潟テレビ 21
	32	BSN 新潟放送
	33	NST 新潟総合テレビ
福井	34	AKT 秋田テレビ
	35	群馬テレビ
	36	日本テレビ
	37	テレビ朝日
	38	TBS
	39	YTS 山形テレビ
長野	40	テレビ東京
	41	フジテレビ
	42	BSN 長野放送
	43	NST 新潟総合テレビ
	44	BSN 長野放送
	45	新潟放送
三重	46	東海テレビ
	47	NHK 教育・名古屋
	48	NHK 総合・津
	49	中京テレビ
	50	CBC
	51	MBS 毎日放送
滋賀	52	メ~テレ
	53	岐阜テレビ
	54	東海テレビ
	55	NHK 教育・名古屋
	56	YBS 滋賀放送
	57	BSN 滋賀放送
福井	58	ABC テレビ
	59	よみうりテレビ
	60	NHK 総合・大津
	61	NHK 教育・大阪
	62	BBC びわ湖放送
	63	MBS 毎日放送
鳥取	64	ABC テレビ
	65	テレビ西日本
	66	BSN 山陰放送
	67	山陰中央テレビ
	68	よみうりテレビ
	69	山陰放送
愛媛	70	KTS 鹿児島テレビ
	71	NHK 総合・松山
	72	NHK 教育・松山
	73	南海放送
	74	愛媛朝日テレビ
	75	あいテレビ
沖縄	76	テレビ愛媛
	77	OAB 大分朝日放送
	78	KTN テレビ新潟
	79	TKU テレビ熊本
	80	KTU 鹿児島テレビ
	81	MBC 南日本放送
鹿児島	82	NHK 教育・鹿児島
	83	NHK 総合・鹿児島
	84	KYT 鹿児島読売TV
	85	KKB 鹿児島放送
	86	KTS 鹿児島テレビ
	87	OTV 沖縄テレビ放送

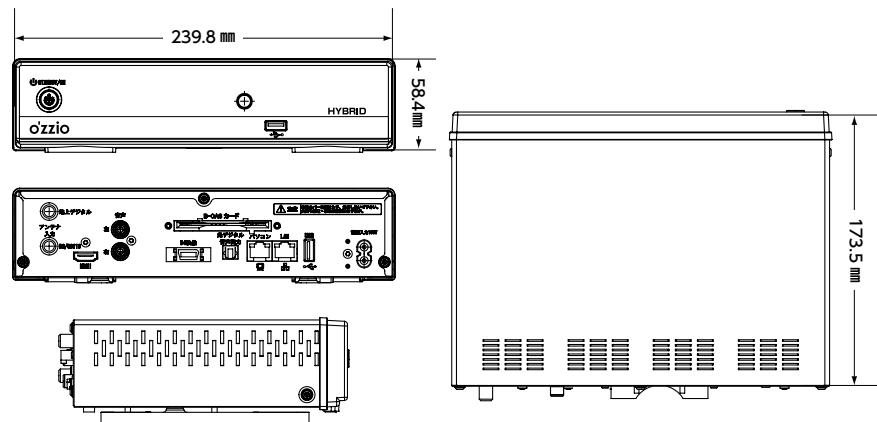
●地上デジタル放送のチャンネルを、地域別に表示しております。他地域の放送を受信した場合、チャンネルと放送局名が異なることがあります。

●地上デジタル放送はリモコンの [1] ~ [12] のボタンで直接選局できます。

(P.26 の「本製品の初期設定」を行なってください)

●地上デジタル放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されることがあります。

製品仕様



項目	規 格	
入力周波数	地上デジタル	90 ~ 770MHz
	BS/110 度 CS デジタル	1032 ~ 2071MHz
受信チャンネル	地上デジタル	VHF 1ch ~ 12ch
		UHF 13ch ~ 62ch
		CATV C13ch ~ C63ch
	BS デジタル	BS1ch ~ 23ch
	110 度 CS デジタル	ND1 ~ ND24
使用温度範囲	5 ~ 35°C	
使用湿度範囲	20 ~ 80% (結露のないこと)	
動作時消費電力	14W (衛星アンテナへの給電がないとき)	
待機時消費電力	0.2W	
外観寸法	239.8 (W) × 58.4 (H) × 173.5 (D) (mm:突起部含まず)	
質量	約 1.2Kg	
入力端子	地上デジタル	75 Ω F型コネクタ
	BS/110 度 CS デジタル	75 Ω F型コネクタ (最大 DC15V、4W)
出力端子	D4 映像	1 系統
	音声	1 系統 (ピンジャック)
	光デジタル音声	1 系統 (角型)
	HDMI	TYPE-A 端子 (1.3a)
その他端子	LAN 端子	2 系統 (100BASE-TX/10BASE-T)
	USB 端子	2 系統 (USB2.0)

アフターサービスについて

本製品に異常があると思ったときは、まず P.79 の「困ったときは」をご覧ください。
それでも解決しないときは、下記サポートセンターにお問い合わせください。

→参考 困ったときは [P.81]

Covia サポートセンターへのお問い合わせは

〒210-0833 神奈川県川崎市川崎区桜本 2-32-1

川崎 SRC4A Covia サポートセンター

TEL : 050-5814-1111

E-mail : tv@covia.net

TEL 受付時間／AM10:00 ~ PM19:00まで 月曜~金曜

AM10:00 ~ PM18:00まで 土・日・祝日

(夏期、年末年始、特定休業日を除く)

【個人情報の取扱】

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理や製品のお問い合わせなどのアフターサービスの目的以外には利用致しません。

またこれらの利用目的の達成に必要な範囲内での業務委託をする場合などを除き、お客様の同意なく第三者への提供、または第三者と共同して利用致しません。



本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。